

作業療法学科 理学療法学科(昼間部・夜間部) 看護学科 介護福祉学科



令和5年度年報



九州中央リハビリテーション学院 令和5年度年報

【目 次】

- ・令和5年度年報の発刊に際して
 - ・学院概要
 - ・組織構成
 - ・沿革
-

令和5年度 年次活動報告書

I 学籍異動・教職員数

1 執筆・論文

II 年間行事実績

2 学会発表

1 作業療学科・理学療法学科

3 講演

2 看護学科

4 学会座長

3 介護福祉学科

5 その他(講義・査読等)

6 研修会参加

III 学生生活

7 社会活動実績

1 入学式

2 宣誓式

3 専各連スポーツ大会成績

4 在学生の声

5 ボランティア活動

6 就職説明会

7 就職

8 卒業式

VI 社会活動・地域活動

1 介護予防事業(OT)

2 介護福祉士実務者研修(CW)

3 進路ガイダンス等

4 学生募集活動

5 オープンキャンパス

6 入学前教育プログラム

IV 教育活動

1 作業療法学科・理学療法学科

2 看護学科

3 介護福祉学科

VII 奨学金

VIII 編集後記

V 研究・研修実績

令和5年度年報の発刊に際して

九州中央リハビリテーション学院 学院長
河野 文夫

関係各位 殿

平素より九州中央リハビリテーション学院に対して、ご理解ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。第18号にあたる令和5年度九州中央リハビリテーション学院の年次活動報告書（年報）が出来上がりましたのでご挨拶申し上げます。

本学院は平成18年4月に作業療法学科と理学療法学科で高度専門士を養成する4年制の専門学校、九州中央リハビリテーション学院として開校し18年目を迎えました。理学療法学科には昼間部のほかに熊本県内では唯一の夜間部を設けています。平成21年には、3年課程の看護学科を開設し、平成23年には2年課程の介護福祉学科を開設し、平成29年から海外からの留学生のための1年課程の国際介護学科を設置しました。また、平成31年からは、働く学生がより勉学に励みやすいように、理学療法学科夜間部を3年課程にカリキュラムの変更を行いました。そしてこれまで、本学院から高い資質を持った、理学療法士、作業療法士、看護師、及び介護福祉士の卒業生が社会人として全国各地の医療福祉の現場で活躍中です。

この年報を見ていただくと、本学院が一年間行ってきた活動の全貌がお分かりになると思います。昨年度に引き続いて教職員の資質向上に向けFD委員会を開催し、学生との関わりや勉強への動機づけ、カリキュラムの検討など、これからの教育活動に結びつけられる実りある研修を行う事ができました。また学生一人一人の日常生活にも目を配り、いつでも学生の悩みに学院として対応するために学生サポート委員会を毎月行っています。

今後も、しっかりと足を地につけて一步一步前進して行ける学院を目指して、この年報を活用していきたいと考えています。

今後とも本学院に対するご理解とご協力をお願い致しますとともに、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

最後になりましたが、皆様方のますますのご活躍を祈念し、ご挨拶と致します。

令和6年5月吉日

学院概要

学校設置者	学校法人 立志学園
代 表 者	理事長 志垣祥一郎

学 校 名	九州中央リハビリテーション学院
学 校 長	河野文夫
所 在 地	熊本市中央区本山 3 丁目 3 番 84 号
ホームページ	http://www.kcr.ac.jp

課程名	学科名	修業年限	入学定員	総定員
医療専門課程	作業療法学科	4年	40 人	160 人
医療専門課程	理学療法学科昼間部	4年	80 人	320 人
医療専門課程	理学療法学科夜間部	3年	40 人	120 人
医療専門課程	看護学科	3年	80 人	240 人
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	2年	40 人	80 人
教育・社会福祉専門課程	国際介護学科	1年	20 人	20 人
計			300 人	940 人

理念・目的・方針

1. 基本理念

- ・徳育
道徳心のある、情感豊かな人間性を養うための教育
- ・知育
知識を広め知能を高めるための教育
- ・体育
運動能力や健康な生活を営む態度などを養うことを目的とする教育

特に徳育に重点を置き、基本的な礼儀作法を始めとした社会性の習得を徹底させ、奉仕を信条とする人材の育成を図ります。

2. 目的

本学院は、教育基本法および学校教育法に従い、専門職として必要な知識・技能・態度を教授し、あわせて職業倫理をはじめ豊かな教養と人格を涵養し、保健・医療・福祉の分野に貢献する有能な人材を育成することを目的とする。(学則第 2 条)

3. 運営方針

<学院づくり指針>

- ・穏やかな学院
知的躍動が漲り、医学を習得し育てる学院とする。
- ・健やかな学院
他者を支え、寄り添う幹を伸暢し育てる学院とする。
- ・美しい学院
感性が迸り、倫理観を涵養し育てる学院とする。

<教育指針>

- ・全ての学生を適切に指導し、明確な将来像を示し、目標達成に導く。

- ・生命の尊厳を尊重し、他者を敬い、多様な社会で協働・協調できる人材を育成する。
- ・問題発見能力と問題解決能力をもつ人材を育成する。
- ・粘り強く、あきらめない心を育み、自己の責任を全うする人材を育成する。
- ・社会性を育み、良き市民として自らを律し、自省自立できる人材を育成する。

＜職員行動指針＞

- ・人間力・教育力・専門力の向上に邁進する。
- ・個々の人格を尊重し、多様性を認め、各々が能力を発揮できる環境整備に努める。
- ・それぞれの専門分野を通し、広く社会に貢献する。
- ・社会の一員を自覚し、良き市民として、職業人として、自らを律し自省自立の精神を持つ。

4. アドミッションポリシー（入学者の受け入れ方針）

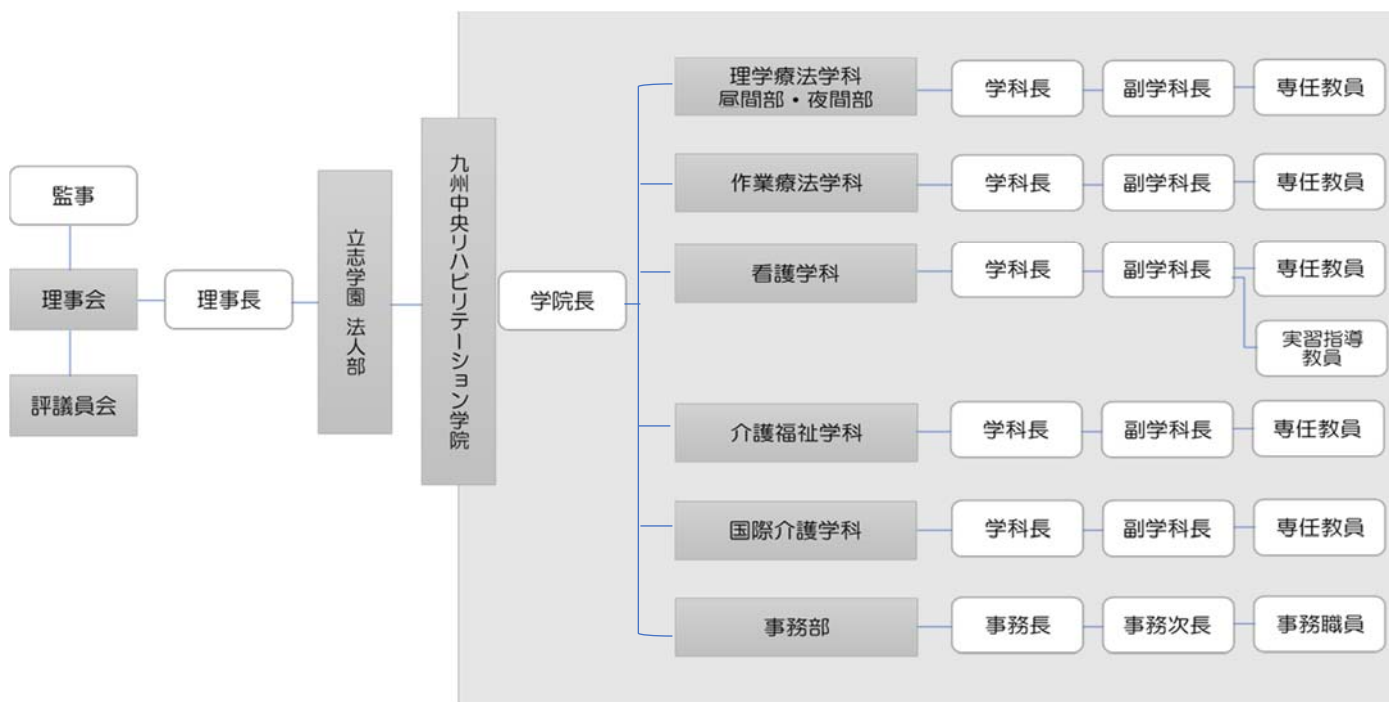
本学は平成18年に開学した、医療系の専修学校です。広く社会に貢献し、高い資質を持った、理学療法士、作業療法士、看護師、及び介護福祉士を養成しています。

本学院は、自ら学ぼうとする意欲と努力を惜しまない学生を求めています。その為には広い視野を持ち、真摯に討論や対話ができ協力し合える能力を備え、また身に付けようと考えている人を広く求めています。

本学院の基本理念である、「知育・徳育・体育」の基、理論と実践に裏打ちされて専門的な知識と技能を身につけるだけでなく、医療人として心豊かな人格の涵養も重要な柱と位置づけ、独自のカリキュラムを用意しています。感性豊かで高い志を持った方々が、本学院の一員となって私たちと共の学びあえることを期待します。

VIII 学院組織構成

VIII-1 組織図（令和5年度）



VIII-2 学校法人 立志学園 理事・評議員・監事（令和5年度）

役 職	氏 名	勤 務 先
理事長	志垣 祥一郎	学校法人 立志学園
会長理事	河野 文夫	九州中央リハビリテーション学院 学院長
副理事長	高宮 宏	学校法人 立志学園
副理事長	田爪 正和	学校法人 立志学園
専務理事	志垣 伸太郎	学校法人 立志学園
理事	永田 壮一	医療法人永田会 東熊本病院 理事長
理事	秋岡 廣宣	株式会社熊本放送 特別顧問
評議員	伊津野 良治	財団法人 杏仁会 熊本内科病院 理事長
評議員	富島 三貴	医療法人 博光会 御幸病院・ぼたん園 理事長
評議員	志垣 輝子	
評議員	目黒 純一	学校法人 熊本学園 理事長
評議員	下田 憲幸	株式会社 熊本会計センター所長
評議員	浅山 弘康	株式会社 熊本放送 特別顧問
評議員	米満 弘一郎	医療法人 寿量会 熊本機能病院 理事長
評議員	由井 照二	由井法律事務所 弁護士
評議員	高濱 照	元九州中央リハビリテーション学院 副学院長
評議員	石崎 聖英	九州中央リハビリテーション学院 事務長
評議員	古山 仁	九州中央リハビリテーション学院 同窓会会長
監事	松本 和雄	松本和雄司法書士事務所 所長
監事	田尻 恒憲	ノーリンプランニング株式会社 代表取締役

沿 革

平成16年7月28日	学校法人立志学園設立準備室設置(熊本市新屋敷1丁目3番25号)
平成17年7月15日	財団法人立志学園設立準備財団の設立許可(熊本県知事)
平成18年1月31日	校舎(1号館)竣工
平成18年3月1日	学校法人立志学園 設立認可(熊本県知事)
平成18年3月1日	九州中央リハビリテーション学院 設置認可(熊本県知事)
平成18年3月2日	学校法人立志学園 設立(熊本市本山3丁目3番84号) 志垣祥一郎 初代理事長就任
平成18年3月8日	九州中央リハビリテーション学院 理学療法士作業療法士養成施設の指定(厚生労働大臣)
平成18年4月1日	九州中央リハビリテーション学院 開校(熊本市本山3丁目3番84号) 岡崎禮治 初代学院長に就任
平成18年4月6日	理学療法学科(昼間部・夜間部)、作業療法学科 第1期生 126名入学
平成19年2月22日	理学療法学科夜間部 専門士称号付与認可(医療専門課程)
平成19年2月28日	理学療法学科昼間部 作業療法学科 高度専門士称号付与認可(医療専門課程)
平成20年12月25日	看護師養成施設の指定(九州厚生局長)
平成21年3月10日	2号館 竣工(熊本市本山3丁目3番87号)
平成21年3月19日	理学療法学科 昼間部 入所定員変更(40名→80名)の承認(九州厚生局長)
平成21年4月1日	児玉公道 九州中央リハビリテーション学院 第2代学院長に就任
平成21年4月2日	看護学科 第1期生 43名入学
平成22年2月26日	看護学科(3年課程)専門士称号付与認可(医療専門課程)
平成22年2月26日	理学療法学科夜間部 高度専門士称号付与認可(医療専門課程)
平成22年3月7日	理学療法学科(昼間部・夜間部)、作業療法学科 第1期生 102名卒業
平成22年3月15日	社団法人日本作業療法士協会 認定校登録 世界作業療法士連盟(WFOT) 認定校
平成23年2月2日	3号館 竣工(熊本市本山3丁目3番70号)
平成23年3月9日	介護福祉士養成施設の指定(九州厚生局長)

平成23年4月8日	介護福祉学科 第1期生 44名入学
平成23年12月22日	介護福祉学科(2年課程) 専門士称号付与認可(教育・社会福祉専門課程)
平成24年1月12日	看護学科 入所定員変更(40名→80名)の承認(九州厚生局長)
平成24年3月9日	看護学科 第1期生 36名卒業
平成25年3月9日	介護福祉学科 第1期生 39名卒業
平成27年3月30日	一般社団法人リハビリテーション教育評価機構認定(OT PT PTN)
平成27年5月23日	学校法人立志学園設立10周年記念式典・祝賀会
平成28年2月19日	文部科学省 職業実践専門課程認定(OT PT PTN CW)
平成29年2月24日	文部科学省 職業実践専門課程認定(Ns)
平成29年4月1日	国際介護学科設置 河野文夫 九州中央リハビリテーション学院 第3代学院長就任
平成29年4月3日	志垣伸太郎 学校法人立志学園 第2代理事長就任
平成29年4月6日	国際介護学科 第1期生6名入学
平成30年4月1日	理学療法学科 夜間部4年課程 募集停止
平成31年4月1日	理学療法学科 夜間部3年課程 設置
平成31年4月5日	理学療法学科 夜間部3年課程 第1期生 32名入学

I 学籍異動・教職員数

I -1 学籍異動

学科	学年	定員	令和5年度					令和6年度			
			期在 初籍数	退 学数	転 区 分 変 更	留 年 数	進 卒 級 業 数	新 入 学 数	編 入 学 数	留 年 数	期在 初籍数
理学療法学科	1	80	84	11	0	1	72	70	0	1	71
	2	80	73	0	0	2	71	－	0	2	74
	3	80	67	4	0	3	60	－	0	3	74
	4	80	46	1	0	0	45	－	0	0	60
	計	320	270	16	0	6	248	70	0	6	279
理学療法学科 夜間部	1	40	29	5	0	0	24	17	0	0	17
	2	40	25	4	0	1	20	－	0	1	25
	3	40	17	0	0	2	15	－	0	2	22
	計	120	71	9	0	3	59	17	0	3	64
作業療法学科	1	40	33	4	2	0	27	24	0	0	24
	2	40	26	1	1	0	24	－	0	0	27
	3	40	35	1	0	0	34	－	0	0	24
	4	40	18	0	0	2	16	－	0	2	36
	計	160	112	6	3	2	101	24	0	2	111
看護学科	1	80	77	12	0	2	63	67	0	2	69
	2	80	88	9	0	10	69	－	0	10	73
	3	80	59	0	0	0	59	－	0	0	69
	計	240	224	21	0	12	191	67	0	12	211
介護福祉学科	1	40	20	3	0	0	17	20	1	0	21
	2	40	26	0	0	0	26	－	0	0	17
	計	80	46	3	0	0	43	20	1	0	38
国際介護学科	1(計)	20	0	0	0	0	0	22	0	0	22
デジタルソリューション学科	1	40	0	0	0	0	0	11	2	0	13
	2	40	0	0	0	0	0	－	0	0	0
	計	80	0	0	0	0	0	11	2	0	13
合 計		1020	723	55	3	23	642	231	3	23	738

I -2 教職員数

	令和5年度 期初	令和6年度 期初
学院長	1	1
理学療法学科 専任教員	12	12
作業療法学科 専任教員	6	6
看護学科 専任教員	13	13
介護福祉学科 専任教員	4	3
国際介護学科 専任教員	1	1
デジタルソリューション学科 専任教員	1	3
事 務	13	13
法 人	7	6
合 計	58	58

Ⅱ-1 年間行事实績

【作業療法学科/理学療法学科】

前期	4月	2日(日) 10日(月)~8月10日(金) 10日(月)~4月29日(土) 10日(月)~4月29日(金)	入学式/保護者会 前期授業開始 PT学科最終学年 評価実習 OT学科最終学年 身体領域評価実習
	5月	22日(月)~7月15日(土) 22日(月)~7月15日(土) 23日(火)	PT学科最終学年 長期実習Ⅰ OT学科最終学年 長期実習Ⅰ 学校法人創立記念日
	6月	10日(土)	第1回オープンスクール 後援会総会 (コロナ禍の為書面での決議)
	7月	8日(土) 9日(日) 22日(土) 20日(木)~28日(金) 20日(木)~21日(金) 31日(月)~9月23日(土) 31日(月)~9月23日(土) 24日(月)~8月5日(土) 31日(月)~8月10日(木)	地域リハ.精神科評価実習 SV会議(OT2.3年生) 第2回オープンスクール 第3回オープンスクール 前期補講期間 最終学年 就職説明会 PT学科最終学年 長期実習Ⅱ OT学科最終学年 長期実習Ⅱ 精神科評価実習 (OT3年生) 前期試験
	8月	5日(土) 18日(土) 21日(月)~9月1日(金) 21日(月)~25日(金)	第4回オープンスクール 第5回オープンスクール 前期再試験 前期試験 (OT3年生のみ)
	9月	6日(水)~12日(火) 11日(月)~15日(金) 11日(月)~16日(土) 19日(火)	PT学科(昼3年、夜2年)地域リハビリテーション実習 前期再試験 (OT3年生のみ) 地域リハ実習 (OT2年生) 前期成績判定会議
後期	9月	25日(月)~2月2日(金) 30日(土)~10月1日(日)	後期授業開始 最終学年 就職説明会
	10月	7日(土) 18日(水) 28日(土) 29日(日)	指定校・高校推薦入試 PT学科夜間部第1回オープンスクール 自己推薦A・社会人A入試 立志祭/第6回オープンスクール
	11月	22日(水) 18日(土)	PT学科夜間部第2回オープンスクール 自己推薦B・社会人B入試
	12月	2日(土) 8日(金) 9日(土)	第1回入学前セミナー (OT.PT.PTN合同) PT学科夜間部第3回オープンスクール 一般入試前期、自己推薦C・社会人C入試

		28(木)	冬期休暇(1月3日(水)まで)
	1月	9日(火)~10日(金)、15日(月)~19(金) 11(木) 13日(土) 20日(土) 22日(月)~2月2日(金)	後期補講期間 PT 学科夜間部第4回オープンスクール PT・OT 学科3年生保護者会 一般入試後期、自己推薦D・社会人D入試 後期試験
	2月	3日(土) 5日(月) 9日(金) 13日(火)~2月22日(金) 18日(日) 24日(土)	PT 学科実習ⅡⅢ指導者会議 卒業判定会議 PT 学科夜間部第5回オープンスクール 後期再試験 第58回理学療法士・作業療法士国家試験 自己推薦E・社会人E入試
	3月	5日(火) 7日(木) 16日(土) 12日(火) 15日(金) 23日(土) 26日(火)	成績判定会議(1~3年) 卒業式 OT 身体領域評価・長期実習ⅠⅡSV会議 第2回入学前セミナー (OT.PT.PTN 合同) 自己推薦F・社会人F入試 第7回オープンスクール 第3回入学前セミナー (OT.PT.PTN 合同)

《令和5年度 看護学科 年間計画》

月 日(曜)	行 事	備 考(担当者)	月 日(曜)	行 事	備考(担当者)
4月			10月		
	* 始業3/29(水)	3年生	2日(月)	⑦7領域別実習開始	3年生
2日(日)	入学式(県立劇場)	1年生	7日(土)	指定校・高校推薦入試	
3日(月)	始業(13:30～)	1～2年生	21日(土)	⑥オープンキャンパス	1～2年生
5日(水)	①領域別実習開始	3年生	23日(月)	⑧領域別実習開始	3年生
25日(火)	フィールドワーク～26日	1年生	28日(土)	自己推薦・社会人A入試	
5月			11月		
2日(火)	新入生歓迎会(遠足)	1～3年	10日(金)	宣誓式	1年生
8日(月)	②領域別実習開始	3年生		保護者会	1年生
12日(金)	看護の日	1～2年生	18日(土)	自己・社会人B入試	
23日(火)	創立記念日	1～3年生	28日(火)	実習「対象を知る」～12/1	1年生
30日(火)	実習「療養環境を知る」～(2日間)	1年生			
6月			12月		
5日(月)	③領域別実習開始	3年生	9日(土)	一般・自己・社会人C入試	
10日(土)	①オープンキャンパス	1～2年生	日()		
26日(月)	④領域別実習開始	3年生	日()	三者面談	1～3年生
30日(金)	研修～2日(学内)	1年生			
7月			1月		
			15日(月)	①領域別実習開始	2年生
2日(日)	②オープンキャンパス	1～2年生	20日(土)	一般・自己・社会人D入試	
15日(土)	③オープンキャンパス	1～2年生	日()		
18日(火)	基礎看護学実習Ⅱ～8/3	2年生			
8月			2月		
1日(火)	官報告示(国家試験)	3年生	5日(月)	②領域別実習開始	2年生
5日(土)	④オープンキャンパス	1・3年生	9日(金)	結団式(案)	1～3年生
20日(日)	⑤オープンキャンパス	1～2年生	11日(日)	第113回看護師国試(?)	(官報にて)
21日(月)	⑤領域別実習開始	3年生	20日(火)	成績判定(卒業)会議(10時)	3年生
日()	ケース スタディ発表会	3年生	24日(土)	自己・社会人E入試	
9月			3月		
11日(月)	⑥領域別実習開始	3年生	日()	看護学科(お別れ会)	1～3年生
			7日(木)	卒業式(市民会館)	1～3年生
			8日(金)	入学前セミナー	1～2年生(新1年生)
			12日(火)	合同実習指導者会議(10時)	
			14日(木)	成績判定会議(10時)	1～2年生
			15日(金)	自己・社会人F入試	
			23日(土)	⑦オープンキャンパス	

* 保護者会・三者面談:各学年にて企画

* 学科会議 (1/月)

II-3 介護福祉学科年間行事

【介護福祉学科】

前期	4月	2日（日）	1年生	入学式
		3日（月）	1年生	新入生オリエンテーション、健康診断
		3日（月）	2年生	新学期オリエンテーション
		4日（火）	1年生	新入生オリエンテーション
		4日（火）	2年生	前期授業開始、健康診断
		5日（水）	1年生	新入生オリエンテーション
		6日（月）	1年生	前期授業開始
	5月	2日（火）	1・2年生	学院創立記念日（5/23代休）
		12日（金）	2年生	介護実習Ⅲ実習指導者会議
		22日（月）～	2年生	介護実習Ⅲ
	6月	10日（土）		第1回オープンキャンパス
		～23日（金）	2年生	介護実習Ⅲ
		26日（月）27日（火）	2年生	医療的ケア見学実習
	7月	2日（日）	留学生	JLPT（日本語能力試験）
		7日（金）	1年生	介護実習Ⅰ実習指導者会議
		9日（日）		第2回オープンキャンパス
		14日（金）～21日（金）	1年生	前期試験
		22日（土）		第3回オープンキャンパス

		24日（月）～	1年生	介護実習Ⅰ
	8月	～4日（金）	1年生	介護実習Ⅰ
		5日（土）		第4回オープンキャンパス
		7日（月）～10日（木）	2年生	前期試験
		8日（火）	1年生	前期授業終了・終業式
		9日（水）～29日（火）	1年生	夏期休暇
		10日（木）	2年生	前期授業終了・終業式
		20日（日）		第5回オープンキャンパス
		11日（金）～9月3日（日）	2年生	夏期休暇
		29日（火）	1・2年生	成績判定会議
		30日（水）	2年生	後期授業オリエンテーション
後 期	9月	4日（月）	1・2年生	後期授業開始
		29日（金）	1年生	介護実習Ⅰ 実習報告会
	10月	3日（火）	1年生	介護実習Ⅱ 実習指導者会議
		23日（月）～	1年生	介護実習Ⅱ
		29日（日）		第6回オープンキャンパス
	11月	5日（日）	2年生	「介護の日」イベント参加
		11日（土）	1年生	介護実習Ⅱ 中間登校日
		～24日（金）	1年生	介護実習Ⅱ
		24日（月）	2年生	学力評価試験

	12月	3日（日）	留学生	JLPT（日本語能力試験）
		5日（火）	2年生	介護福祉士会全国一斉模擬試験
		18日（月）～22日（金）	2年生	後期試験
		22日（金）	1・2年生	年内授業終了
		23日（土）～1月3日（水）	1・2年生	冬期休暇
	1月	4日（木）	1・2年生	授業開始
		4日（木）～26日（金）	2年生	国家試験対策
		26日（金）	2年生	国家試験オリエンテーション
		28日（日）	2年生	第36回介護福祉士国家試験
	2月	1日（木）～9日（金）	1年生	後期試験
		5日（月）～8日（木）	2年生	医療的ケアの実践（集中講義）
		20日（火）	2年生	卒業判定会議
	3月	5日（火）	1・2年生	卒業発表会
		6日（水）	2年生	卒業式予行演習
		7日（木）	2年生	卒業式
		14日（木）	1年生	進級判定会議
		16日（土）～31日（日）	1年生	春季休暇

III-1 入学式

令和5年4月2日（日曜日）午前9時30分より新型コロナウイルス感染対策を施し熊本県立劇場において保護者、学院関係者のみで令和5年度の入学式が挙行された。作業療法学科18期生27名、理学療法学科18期生83名、理学療法学科夜間部

18期生25名、看護学科15期生74名、介護福祉学科13期生22名計231名が学院長の河野文夫より入学の許可を受けた。自治会長の小川寛人が在校生を代表し歓迎の辞を述べ、新入生を代表して井上咲愛が新入生代表宣誓を行った。



理学療法学科夜間部



看護学科

学校法人 立志学園
九州中央リハビリテーション学院 令和5年度 入学式



介護福祉学科



宣誓式

日 時：令和5年11月8日（金）

9：30 開式

場 所：九州中央リハビリテーション
学院 1号館 講堂

対象学生：第15期生67名

（男子学生8名、女子学生59名）

「宣誓式」その起こりは、近代看護の母と言われる「フローレンス・ナイチンゲール」その人が所以であり。我が国においては「戴帽式」として長年執り行われてきた。儀式的印象が強いが、時代の流れと共にそのあり方は多様化している。当学科では、令和3年度から「宣誓式」と名称を改め、ひとの命の尊厳に基づき、その生業そのものに対する畏敬と決意を確固たるものにする機会として継承している。

厳かな雰囲気の中、「宣誓の儀」が行われた。緊張した面持ちの学生達一人一人が「フローレンス・ナイチンゲール」より「看護の精神」である灯を頂き、ナイチンゲール誓詞を全員で唱和した。

また、「一、私達は、仲間と共に向上心を持って真摯に学び続け、看護の基本原則に基づき、確かな知識と技術を習得します。一、患者とその家族に信頼されるよう、看護学生として自覚を持ち、責任ある行動をとります。一、健康障害や患者の見えることのみに囚われず、患者の価値観を尊重し、看護を創造していきます。一、初心を忘れず謙虚な気持ちを持ち、患者に寄り添い、患者のよき理解者となる看護師を目指します。」と自らの言葉で誓いをたてた。

河野学院長より「第一点、心身共に健康であること、第二点、素直な心を持ち続けること、第三点、自ら進んで勉強すること」等、今後看護師を目指す上で大切な事を式辞として頂いた。また、先輩からは「今後出逢うであろう患者様を心の中心におき、努力すればきっと看護がわかり、看護の素晴らしさや魅力に気が付き、そして看護を学ぶことが楽しくなる日が来ることを実感しています。今の気持ちを大切に仲間との絆を深く結べるよ

う日頃の関わりを大切にしていってください」と心温まる激励を受けた。

今年度は、コロナウイルス感染が5類となり、保護者の皆様に温かく見守られながらの4年ぶりの式典となった。

今年の1年生は、「新型コロナ感染拡大」の渦中で高校生活3年間を過ごしてきている。マスク装着、行動規制等あり、いささか消極的な側面も感じている。しかし、何といたっても「看護師」を目指す若者達である。「患者様」お一人お一人を支え抜く底力は、看護基礎教育の責任でもある。本日、学生達が誓った言葉が必ず達成できるよう、また学生一人一人が「新人看護師」になれるよう私達にとっても身の引き締まる宣誓式でもあった。

Ⅲ-3 第64回熊本県専修学校各種学校連合会スポーツ大会

県大会成績

	種目	性別	順位	氏名
団体	バレーボール	女子	優勝	-
	フットサル	男子	優勝	-
個人	テニス	男子	優勝	小川 寛人
			準優勝	田中 達哉
			3位	田中 亮百
	ソフトテニス	男子	準優勝	宇野行治・東田蒼太組
			3位	村岡佑星・安成洸喜組
		女子	優勝	澤辺千桜・多田未空組
			準優勝	元村一葉・砂原羽寿組

九州大会成績(福岡)

	種目	性別	順位	氏名
団体	フットサル	混合	3位	-
	バレーボール	女子	3位	-
	テニス	男子	準優勝	-
	ソフトテニス	男子	準優勝	-
		女子	3位	-
個人	ソフトテニス	女子	3位	澤辺千桜・多田未空組

III-4 CW 在校生と卒業生の声

【介護福祉学科】

「1 年生を振り返って」

13 期生 吉武なずな

介護福祉士を志望した私は、進学にあたり 2 年間という短い期間で学び、国家資格を取得でき、いち早く社会の役に立てると思い九州中央リハビリテーション学院に入学しました。

入学後は 7 月からの初めての実習に向けて友人たちと演習や座学に必死に取り組み、実習初日を迎えました。ところが実習初日から自分自身の実力と専門的な知識の無さに打ちのめされてしまいました。そのため 1 回目の実習は私の中で上手くいったと思えるような実習ではありませんでした。しかしそばで支えてくれるクラスメイトたちは全員同じ夢を持つ仲間、みんなから沢山アドバイスをもらい、また先生方からもご指導をいただきながら、10 月からの 2 度目の実習では、できることも増え、7 月の実習で課題だった専門的な知識不足は教科書や先生方から聞く等学習に励み、実習中に実践し、その後の学院での授業でも役立っていると思います。実習の課題の一つでもある介護過程の展開では、介護計画の重要性を理解することが出来ました。支援内容は客観的に見て私が必要だと思ったことを提供しても、その人にとって必要なものではなく無理をさせてしまうかもしれないという事を学びました。将来、現場で介護計画 作成に携わる際には十分に責任を持ち、利用者様と真摯に向き合うことが大切だということを学びました。これらの 2 回の実習の経験から、毎日意欲的に学習に取

り組んでいます。アルバイトと学業の両立はきついですが、同じ目標を持つ者同士励まし合いながら頑張ることが出来、個性豊かな友人たちに囲まれて毎日充実した日々を過ごしています。

2 年生で行なわれる実習は学生生活最後の実習となります。何事も気を抜かず、これまでの集大成として、学びをより深めるように努めたいです。また実習後に本格的に始まる国家試験対策や就職活動も、学業と上手く両立できるように精一杯頑張りたいです。そして笑顔で卒業式の日を迎えられるよう、目標を達成するためにやると決めたことは最後までしっかりとやりとげることができるようこれからも精進していきます。

「2 年間で振り返って」

介護福祉学科 2 年 森田響

私の 2 年間は長いようで短い 2 年間でした。1 年生の 7 月から最初の実習が始まり、まだ知識も介護技術も習得していない身で実習に行くのが物凄く怖かったのを今でも覚えています。次の実習では 1 か月家を離れて宿泊させていただきながらの実習で、慣れない土地での生活に不安もありましたが、クラスメイトや巡回の先生にアドバイスをもらいながら、乗り越えることができました。

2 年生になると、本格的に国家試験の勉強が始まりました。模擬試験や過去問を解いていくうちに、本当に国家試験に合格できるのだろうかと思いが不安でいっぱいでしたが、グループワークで教え合ったり、分からないことを先生方に質問したりして、クラス全体で乗り越えることができたと思います。この 2 年間はコロナ禍でもあり、

制限されることも多かったですが、無事に卒業することができ、先生方にも恵まれ、幸せな2年間でした。2年間学んだことを忘れず、常に新しいことに目を向け、周りを笑顔にできるような大人になれるよう、努力していきます。

【理学療法学科昼間部】

「1年生を振り返って」

理学療法学科昼間部 2年 吉田隆晟

入学した当初は、見ず知らずの人達が多くて友達ができるのか、勉強についていけるかなど不安を抱えながら過ごす日々でした。初め、級長に選ばれた時は自分で良いのかなど不安に思うこともありましたが、クラスメイトの優しさ、そして担任の先生のサポートもあり一年間やり通すことができました。

勉強面に関しては、高校で学ばなかった筋や骨、神経などと専門的な教科が多数あり、これから大丈夫なのかと思う日もありました。しかし、クラスメイトと勉強を教えあい、先生方のサポートがあったことで安心感が芽生え、無事に乗り切ることができました。

テスト期間になると、今まで勉強をあまりしてこなかったつけが回ってきて、睡眠時間の減少などにより体調を崩すこともありました。どのように勉強すれば良いかわからず前期の時はとても苦労しました。後期は前期の反省を生かし、早期から勉強を始めることにより、睡眠時間の確保や、焦らずに勉強に励むことができました。その結果、高校の時とは比べられないほどの成績を出すことができました。

文化祭やクラスマッチなどの学校行事では、初めてのことで、最初戸惑うことばかりでした。役割分担を行う場面や、友達にわかりやすく伝えるにはどのようにすればいいのかなど、試行錯誤を続けました。ハプニングは何度かありましたが、クラスのみんなと協力することにより、絆も深まり予想以上のものを作り上げることができ、とても心に残る思い出を作ることができました。

2年生になったら、実技のテストが増え、勉強が難しくなってきました。1年生で習ったことが、2年生の勉強とつながってきて少しずつ、習った内容の大切さがわかってきました。内容を復習しつつ、新たに学んだ知識を頭に入れながら2年後の国家試験に向けて頑張っていこうと思います。

「2年生を振り返って」

理学療法学科昼間部 3年 青木由紀子

今回、2年生の学習を振り返るにあたり、自宅の本棚にある1年生と2年生で受講した教科書の一覧を眺め、改めて思いを馳せてみました。その上で、1年生の時には、解剖学や生理学などで細胞や組織レベルから、臓器や脳の働き、骨・筋など人体の基盤となる「ヒト」についての概要を学んだことを再度確認することができました。さらに、2年生の時には、1年生で学んだ内容をステップアップさせて、MMT、体表解剖学、動作分析など、理学療法士として必要となる知識や技術を専門的に学ぶことができました。また、専門分野に加えて、栄養学や薬理学、心理学などを学ぶことで、理学療法士として、一面的ではなく、多面的に「ヒト」を分析することの必要性を学ばせていただきました。

私は、この2年間の学院での勉学を通じて、今までの自分の人生についての疑問や壁が、人間としての生物学的なものを理解することで、解決できることがあると身をもって感じました。また、理学療法士としては、患者様や利用者の方が感じた不安や疑問に、医学的・科学的に解説や還元できる必要があると思いました。そのために、今までインプットしてきた内容をアウトプットできるように、学んだ知識や技術を定着させる（復

習する)ことが重要であると感じております。

知識や技術の定着は、一筋縄ではいきません。2年生の学習は、個人ワークよりも、実技やレポート発表などグループワークが増えたように感じます。3年生へ向けての更なる飛躍のための準備段階として、知識の応用方法などをクラスメイトと一体になり、獲得することができたように感じます。個人では限界のある課題も、数名で団結して取り組むことで予想以上の成果を上げることができました。先生方にも授業以外の時間にご対応いただき、熱心にご指導していただきました。先生方の的確なご指導のもと、絡まった紐をスルスルとほどくように、いつも正解へと導いていただいております。感謝の言葉しかありません。

3年生では、今まで学習してきた知識の応用やグループワークも増えていくことと思います。最終学年に向けて、クラスメイトと協力しながら、1~2年生の内容の復習、更なる発展的な技術や知識へのアプローチを行っていきたいと思います。

末筆ながら、いつも九州中央リハビリテーション学院で教鞭をとっていただいております先生方、関係者の方々に感謝の意を表したいと思います。本当にありがとうございます。また、引き続き、ご指導ご鞭撻のほどお願いしたいと思います。

「3年生を振り返って」

理学療法学科 昼間部 4年 堀田夏輝

3年次の学習は、1・2年次に比べ基礎的な知識だけでなくより深い専門的な知識が求められることや、自分の力で考える講義が増えてきたと感じました。他にも症例の情報をもとにしたプログラム立案・ゴール設定など、自分の考えだけでなく班の考えを基にレポート作成する講義も増えてきました。その中で私が特に

感じたこととして、これまでに学んできた基礎的な知識や筋の作用など理解していない部分が多々あり、3年次に上がる前までに内容を復習し理解しておく必要があると感じました。また、プログラム立案やゴール設定を行う際に、筋の作用を十分に理解できていなかった事でどの筋に対しアプローチを行えばいいのかわからなかったり、基礎的な知識・結果を踏まえ考察していくがなぜそのような結果になるのか、理解するまでに時間がかかるなど自分の知識の不足を強く感じました。この問題を解決するためにも常日頃からの復習や予習により知識をつけることが必要だと感じました。また、この3年次ではコミュニケーション能力の向上も必要だと感じました。3年次では個人での活動だけでなく班での活動が増え積極的に班に参加し意見を出すなど自ら積極的にコミュニケーションをとることでより良い関係性を築けると感じました。コミュニケーションは評価実習や臨床実習、他職種との関わりの中で必要不可欠なため現在から力をつけていくことが必要だと感じました。3年次での学習では自分の苦手分野を自覚し、興味のある分野を見つけることができたことなど考えを深める1年になりました。これから4年次では評価実習・臨床実習・就活試験・国家試験などが控えており今まで以上に難しくなると思うが途中で投げ出さず一つ一つのことに集中し、準備をして4年次を迎えられるように頑張っていきます。

「最終学年を振り返って」

理学療法学科 昼間部 15期生 渡邊尚哉

4年生では臨床実習と国家試験が主となり、日々忙しくもとても充実した1年間となりました。

臨床実習では2つの思い出があります。1つ目は理学療法士の考え方や患者様の接し方を学ぶことができたことです。患者様が何を求め、それに対して自身が何ができるか悩み考える日々でした。その悩みに対し、臨床実習指導者から助言や指導を受け、今後理学療法士として働

くための基本となる考え方を教えていただきました。2つ目は、自分が行うことに
対して1つ1つ意味を持ち、考えることの
大切さを学びました。臨床実習指導者
が行う関節可動域訓練や筋力増強訓練の1
つ1つに、たくさんの知識や技術が集約
されていました。私自身、知識や考える
能力を習得することが今後の課題だと感
じました。この臨床実習で学んだことを
生かし、これからも自己研鑽に励み、患
者様に対し真摯に向き会える理学療法士
になりたいと感じました。

次に、国家試験対策です。今までの人
生で1番と言えるくらい勉強に取り組ん
だ期間となりました。勉強しても模試の
点数が上がらず悩む時期もありました。
しかし、先生方や友人からの助言や・励
ましのおかげで、少しずつ点数が上がり
日々の努力が成果に結びついた時は、嬉
しく感じました。1人では絶対に国家試験
の合格は達成できなかったと思うし、改
めて友人の大切さを感じました。また熱
心に指導してくださる先生方の存在が、
私自身のやる気にも繋がりました。これ
からは理学療法士として多くの患者様を
笑顔に出来るように、日々精進してい
きたいと思います。

【理学療法学科夜間部】

「1年生を振り返って」

理学療法学科夜間部 2年 野中奎輔

まず後悔していることとして、講義中に自分の中で理解できているようでも、後日復習を行ってみると曖昧な箇所がいくつかあり、その時点での確認を怠ったままで次の講義へ進むといったことがありました。結果として、理解不足をそのままにした状態で講義を受けても、復習した内容と新しく得た知識同士を繋げることができず、その繋がり浅さが悪循環を起こして最終的な振り返りに想定以上の時間がかかってしまいました。

また、後期より実技を行う科目が追加されたのですが、クラス内で実技練習を行いたい場合に夜間の講義後は時間の関係上練習を行えないためにお昼の時間を当てたかったのですが、こちらは各々の仕事・バイト等があるためスケジュールの調整が困難でした。

次に良かった点を主に学習の面で振り返ったとき、夜間部のクラス人数が少ないため、特に実技指導のある科目では先生方に指導の時間を十分にとっていただけることと、講義中の質問も行いやすい空気だったように感じます。これらは夜間部ならではの良さだったと思います。

また、クラス内の事で言えば様々な経歴・年齢・目標の方が集まっていますが、講義の内容を振り返るときにそれについて真剣に話し合うことができ、私の知識不足を補ってもらえました。そして、当然のことではあるのかもれませんが、講義中も周りの迷惑になることがないようにと受講態度も良好で掃除もきちんと行い、他にも多くの理由はありますが、私としてはこの18期の方々と入学できたことが幸運だったと思います。

他にも、先生方に以前の講義内容や個人的に気になった事を尋ねに行った際に私が理解できるまで教えて下さり、口頭で私が理解できないときには補足資料を用いて説明するなど、とても丁寧に対応していただきました。

「2年生を振り返って」

理学療法学科夜間部 3年 大越七海

2年生になり、より臨床に近い勉強をしていく中でたくさんの壁にぶつかった1年間でした。個人的には整形外科クリニックのリハビリ助手を始めた変化の年でもありました。元々小児PTになることを夢見て、小児施設で働きながら学校に通っていましたが、学生のうちからたくさんの経験を積んでおきたいと思い、整形外科クリニックでのリハビリ助手のアルバイトを始めました。

2年生の後期テストが近づくにつれて、レポートや課題の提出が増え、すごく忙しい毎日を過ごしました。どのリハビリテーションが1番最適なのか、考えれば考えるほど答えが見えなくなり、課題を進めようと思っても手が止まるばかりでした。自分の要領の悪さに何度も頭を悩ませ、短時間睡眠の生活が続き、仕事と勉強の両立に正直身も心もボロボロでした。学校でも体調を崩すことや、仕事でも頭が回らないことが何度もあり、その度に先輩たちにたくさん助けて頂きました。

たくさんアドバイス、励ましの言葉をもらい今が踏ん張り時だと何度も自分に言い聞かせ、なんとか走り切ることができました。周りの方の支えがあってこそ今の自分がいると心から思っています。リハビリ助手として働いたこの1年間はとても実りのある1年間となりました。医療現場での仕事を間近で見させてもらい、言葉遣いや患者様の対応などこれから自分の力となるものをたくさん得ることができました。大きく得たものもたくさんありますが、その一方で自分自身の勉強不足をととても痛感しました。これから実習にいく身として大丈夫なのかと不安な気持ちだけが募りますが、今までの2年間で学んだことを活かすために最終学年も

精一杯頑張っていこうと思います。そして必ず国家試験にも合格し、笑顔で学校生活を終われるようにしたいです。

「最終学年を振り返って」

理学療法学科 昼間部 16 期生 原田 涼

私は2年生の時に留年し、自分と向き合う時間を作りました。最初は、理学療法士を諦めようと思いましたが、ここで諦めたら今まで学院で学んだことが無駄になると感じ、諦めずに理学療法士を目指しました。

最終学年は、臨床実習と国家試験対策で休む暇がない一年でした。

実習では、私の勉強不足を感じ苦労したと同時に、患者様と治療の経過を共に実感し、喜ばれている姿を見てとてもやりがいを感じました。また、実習でしか経験できない出来ない内容があり、様々な理学療法を学ぶこともできました。

国家試験対策の学習で行う模試は、中々点数が上がらなく、落ち込むことがあります。嫌になることもありました。それでも、理学療法士になりたい、という気持ちが学習していく中で強い励みと支えになりました。国家試験対策と同時に就職活動も始まりました。周りの人は就職が決まっていく中で、私は国家試験が終わってから就職活動を始めようと考えていました。その理由は、就職活動を同時にしてしまうと、自分の性格上、国家試験対策の学習をおろそかにしてしまい、中途半端な結果になると考えたこと、また、一度留年しているため、国家試験に絶対受からないといけないうプレッシャーがあったからです。

そのような状況を経て、国家試験終了後に就職活動を始め、兵庫県の回復期の病院に就職を決めました。地元・熊本を離れますが、学院生活で得たことを生かし、知らない土地で、一度きりの人生を、色々な人と出会い、楽しみたいと思っています。

2年間を振り返って

看護学科2年 田島 涼夏

私は、中学生の時に熊本地震で、避難所生活を経験しました。避難所の生活はもちろん初めてです。無事を喜ぶ一方で、被害の大きさが日毎に伝わり、「大変な事が起こった」という事は中学生の私にもわかりました。避難所の誰もが今の状況が受け入れられず、また今後の見通しもつかず途方にくれているようでした。しかし、そのような重い空気の中、避難所の方々一人一人に優しく声をかけ、励まし、話を聴き、関わっておられる看護師さんの姿が希望の光のように感じた事を今でもはっきり覚えています。そして、その出逢いこそが私の「看護師」を目指すきっかけになったことは言うまでもありません。その思いは、私の中で益々大きく膨らみ、「どんな状況であっても、心から人に寄り添い、少しでも安心感を覚えて頂けるような看護師になりたい」と決心し、この学校に入学しました。

入学してから1年間は専門分野である看護の基礎となる部分を学びました。どの科目も初めて聞く言葉ばかりで「調べて、覚えて…」を反復し理解に繋げ、テストに向けては自分なりにノートを創り学習しました。学校生活を送る中で友人もたくさんでき、みんなで力を合わせて学習に取り組みました。2年生になると、1年次の学習を応用した「看護過程」など学習し、看護について幅広く学び深めました。各領域の「看護過程」ではそれぞれの対象に合わせた看護が必要であり、チームで学習し意見を出し合うことで、自分では気づけなかった視点も学ぶことができ、力を合わせて看護について考えることができました。終講試験や演習など多重課題に取り組むことは難しく、迷い混乱することもありましたが、仲

間や先生方へ相談し、より多くの知識や考え方を自分のものにできたと感じています。

また、この2年間を振り返りあらためて実感している事があります。それは「仲間の存在」です。日々の学習はこれまだにも増して、やればやるだけまた新たな課題が見つかり、正直挫折してしまいそうな時もありました。しかし、仲間と協力し、時には弱音を吐いたり、励まし合ったり、学習でも人それぞれに得意な所も苦手な所も異なるため、お互い教え合うことで乗り越えることができました。これまでと違い単に仲が良い友達で終わらず「看護師を目指す仲間」という関係ができた事が私の大きな支えです。3年生になると、臨地実習を通し、たくさんの患者様との出逢いが待っています。これからはもっと、このかけがえのない仲間と切磋琢磨しながら、患者様へ今の自分にできる精一杯の看護ができるよう頑張ろうと思っています。そして必ず、中学生のあの時、出逢った看護師さんに近づくよう努力し続けます。

1 年生を振り返って

看護学科1年 岡本 真桜

この1年を振り返り、一番心に残っていることは「宣誓式」で誓いの言葉を唱和した時でした。ナイチンゲール像から頂いたキャンドルの灯かりだけが辺りを照らし厳かで、そして張り詰めた空気。その中で15期生全員が心一つにしてナイチンゲール誓詞を唱えた時、鳥肌が立ち涙が溢れそうになりました。そして、これから先どんな困難があってもここにいる仲間全員で「看護師に成る」と誓ったと同時に人の命に関わる看護師という、責任の重い仕事を選んだ自分自身に、「中途半端な気持ちでここに立つことはできない」と、再度奮い立たされた瞬間でもありました。

この学校で学び始め、これまでの自分を振り返り、最も見直した事は「時間の使い方」でした。高校生までは、暇さえあればスマホを触る生活をしていました。今考えると相当時間を無駄にしてしまったと後悔しかありません。しかし、現在はその多くの時間を学習時間に使うことができています。時間を設定し、行動してみると案外うまくいくことも分かりました。今では、習慣化し継続して学習することができています。また、その甲斐もあり授業中でも講師の先生方のおっしゃることもわかるようになりました。問いに応えられる事も増え、自分の中で学んだ知識が繋がり、知識が定着してきていると実感しています。そして、学習の面白さも少しづつわかってきた気がしています。24時間という限られた1日を「自分の夢の実現」のために使っていると考えると、あらためて今日の一日がとても大切に有難く思えるようになりました。

看護学校生活は、わかっていたつもりでしたが、やはり濃厚で疲れる日もありまし

た。ですが、学校に行きたくないと思った事は一度もありませんでした。それは、高校迄と違い、同じ目標を持つ仲間がたくさんいるからだと思っています。辛い時、壁にぶつかった時、友達と話したり笑い合うだけで悩んでいることすら忘れてしまいます。「悩んでも仕方ない、夢に向かって前に進むよ」と思わせてくれる仲間がいて、その仲間達に何度も救われました。今度は私が仲間に対して支えていけるような色々なことに挑戦して行きたいと考えています。

近頃では、仲間との会話の内容が授業の中身や看護に対する考え方等が多く、ずいぶん変化してきていると思います。そしてこのこともお互いが看護学生として成長してきている証と感じ嬉しくなります。

まだまだ、自分の理想とする看護師像は正直定まっていません。しかし、これから始まる、より専門的な授業や何と言っても臨地実習で出逢う患者様やその家族、そして看護師さんとの出逢いを大切に、その関わりを通して自分と向き合い、明確な理想の看護師が描けるよう、邁進していきたいと思っています。

「二年間を振り返って」

作業療法学科二年 小西美鈴

二年間一緒に頑張ってきたクラスのみんなと
残りの二年間も頑張っていきます。

九州中央リハビリテーション学院に入学して二年が経ちました。入学した最初は、友達のこと、学院生活のこと、勉強のこと、たくさん不安なことがありましたが、クラスのみんなと一緒に過ごしていく中で一緒に帰ったり、授業でわからなかったところを教えてくれる友達が出て、とても楽しい学院生活を送ることができました。

一年生では、初めてで難しい内容の講義を90分間聴き続けることに慣れずとても大変でした。授業の中で理解してしまうことはできず、学習会の時間で先生方に教えてもらいながらクラスのみんなと一緒に勉強をしていました。そのときは大変でしたが、振り返ってみるとテストに向けてクラス一丸となって同じ勉強をしていくことは楽しかったです。後期では少しずつ実技の講義も始まり、覚えることも、大変さも増しましたがそれでも友達や先生方、家族など周りの人たちの支えのおかげで乗り越えることができました。

二年生では初めての実習があり緊張や不安な気持ちでいっぱいでしたが、バイザーの先生やスタッフの方々がとても優しく指導してくださったり、質問に丁寧に答えてくださって無事に一週間の地域リハ実習を終えることができました。実際に病気になった方や作業療法を受けている現場を見ることができて、それからの講義も理解しやすくとても良い経験になりました。後期にはこれまでは出来なかった文化祭も二年生で初めて開催されました。他学年との交流もできて良い思い出になりました。三年生になってからは実習の期間も2週間のび、勉強もさらに難しくなると思いますが、

1 年生を振り返って

に向かって努力しようと思っています。

作業療法学科 2 年 齊藤太一

九州中央リハビリテーション学院に入学して1年が経過しました。今年1年を振り返ると、勉強は大変でしたが友人と楽しく過ごせ、充実した1年だったように思います。私の兄はこの学院の卒業生で、兄からは「学院は楽しく、学年問わず仲良く、先生とも距離が近い環境の学校」だと聞いていました。入学してから沢山の新しい友人たちと出会い、学院生活を過ごしていくうちに、兄の言う通りの学校だと感じました。

私はこの1年間で特に頑張ったことが2つあります。

1つ目は、級長としてクラスをまとめたことです。クラスメイトはいろんな高校から進学してくるため、初めて話す人ばかりになります。私は人と話すことは好きですが、初めて話す人と上手く接することができるか不安でいっぱいでした。しかし、日々の学院生活を送っていくうちにクラスメイトと仲良くなり、周囲のサポートもあって級長としてクラスをまとめることができたと思っています。

2つ目は勉強です。私は勉強が得意ではなく、医療系の勉強についていけるか不安でした。1年生での勉強は、作業療法士に必要な医学的基礎知識を学ぶ授業が多く、覚えることが沢山あって気の抜けない毎日でした。クラスで行った試験対策はひと講義範囲程度の問題を理解できるまで帰れないようなことも実施し、努力の連続だったように思います。しかし、それをクリアしたため、毎週のようにある小テストや定期試験で満足のいく結果を出すことができました。大変でしたが、今となってはとても対策を行っていただいたことに感謝しています。しかし、後期では、前期の結果が比較的良かったため、慢心してしまいテスト対策に取り組むのが遅れ、定期試験の結果を落としてしまったように思います。2年生では1年生での反省を生かして、分からないことがあったらできるだけ早く先生や先輩に質問したり、友達と一緒に勉強したりして対策を怠らないようにし、納得のいく成績が出せるように頑張っていこうと思っています。

最後に、2年生では初めての臨床実習が始まります。不安はありますが、これからも作業療法士になるという同じ目標を持った仲間と楽しく協力し合い、夢

3年生を振り返って
作業療法学科 4年 黒田愛花梨

気づけば4年次を迎え、本学院で3年間リハビリテーションについて学習して参りました。ついこの前入学したような、そんな感覚が残りつつも3年間の学習を積み重ね、医療人を目指す心構えが少しずつ出来てきたように感じております。

3年次では1、2年次で学習した知識をもとに実際の症例情報から必要な評価を抽出しプログラムを立案するといった学習が多かったと感じております。それに伴い、基礎知識の定着が非常に重要であると体感致しました。患者様にとって何が必要であるか、患者様のニーズを叶えるには何を施さなければならないのかを思考する際に疾患の概要や予後、必要な評価についてなど、基礎的な知識が必須になります。知識の引き出しを少しでも増やし、思考の視野を広く柔軟に出来ることは患者様の生涯を考える作業療法士にとって不可欠なことであると考えております。今日まで学習してきたことを再学習し、机上だけの勉強と思わず今後の実習や臨床に生かしたいと思います。

また3年次は前述した通り、思考する課題が多く課題を学習班にて班員と協力し取り組むことが多くありました。学習班では班長を担う機会が多く効率を考えながら班員全員にとって良い学習になるよう努めて参りました。時にはどのように班をまとめたら良いのか、自分の意見の押し付けではなく班員の考えを引き出すにはどうしたら良いのか悩むこともありましたが、副班長やその他の班員の力を借りながら協力して学習を進めることができました。チームで協力することは臨床場面に出た際にも重要になってきます。学院内でそのような経験をすることができてよかったと思っております。

本年度は学院で過ごす最後の一年です。四年時では評価・臨床実習、国家試験があります。作業療法士を目指す私たちにとって避けては通れぬ道です。その時にやらなければならないことを考え、目の前の課題に真摯に取り組んでいきたいと思っております。そして4年間ともに学習してきた仲間たちと共に作業療法士になりたいと思っております。

「4年次を振り返って」
作業療法学科 15期生 石原 敬人

4年次は実習と国家試験対策が主であった。

実習では患者様の情報をまとめて朝に提出しなければならないが、忘れ物をしたり、実習先のスタッフともコミュニケーションが取れず、体調にも変化が出てしまい、指導者や学院の教員にも迷惑をかけることがあった。どうしたら改善できるのか学院で教員に相談し、iPadのロック画面に物品の一覧を載せ忘れ物を予防したり、前日の準備・朝の再確認を行った。レポートについては分からないところは指導者だけでなく学院の教員にも相談し、指摘を頂いた際はメモをとり改善するようにした。また、不安でも見学に入ったら最低一回は質問をし、挨拶も顔を合わせるたびに行った。基本的なことではあるが、今までそれができていなかったのだと認識することができた。

結果として、患者様や病院スタッフとの関わり方、1日の過ごし方に対しての考え方について変わってきたと感じた。正直、実習に行く事が嫌になった時もあったが、実際に病院で働くことになってからはとても良い経験になったと思う。

国家試験対策では、初めは1日のノルマをやって、翌日の朝の小テストを乗り切れればいいと思っていたが、外部模試は散々な結果で「初見の問題だどこまで解けないものなのか…」と思い勉強の仕方を改めた。学習グループのメンバーや友人と範囲を網羅した後、掛け合いにてお互いの分からない所を把握して、教え合う。時間にして9時から22時まで、多分人生で一番勉強したのではないと思う。そのうち、過去問や外部模試の正答率が合格圏内になり、点数がなかなか伸びない人のアシストにつくことになった。自分も成績が不安な中、人に教える事ができるのか不安があったが、相手の成績が伸び、自分自身も理解が深められたので、人に教える事も立派な学習だと感じた。

国家試験前日は友人と一つの部屋に集まって、夜遅くまで最後の仕上げを行い試験に臨んだ。今までの模試より不安や緊張が和らいだ状態で解く事ができたが、終わった直後は落ちたかもしれないという不安でいっぱいだった。合格が確定したときは、みんなと喜びを分かち合い、ギリギリだった人も合格した

ことを知って、電話で「おめでとう！」と心の底から称賛の声を出した。

今までの人生でこれほどまでに全力で挑み、助け合ったのはおそらく人生で初めてであったがとても気持ちの良いもので、辛いこともたくさんあったがとても充実した一年となった。

Ⅲ-5 ボランティア活動

学生自治会のボランティア委員会、介護福祉学科ボランティアサークルクローバーを中心に積極的にボランティア活動を行っております。

	日程	活動場所	活動内容	参加者
1	8月14日	特別養護老人ホーム 輝祥苑	職員の補助 事務作業	2名
2	8月18日	九州中央リハビリテーション学院 一号館前	草取り	7名
3	9月16日	ゆたか学園	秋祭りの準備・設営 利用者の買い物補助・誘導	10名
4	11月4日	特別養護老人ホーム 花へんろ	秋祭りの準備 利用者の買い物補助・誘導	6名
5	11月12日	熊本港周辺	マラソン大会の誘導、警備	24名
6	12月10日	熊本市街地	音楽イベントの参加者誘導	5名
7				
8				
9				
10				

V 学生生活

V-6令和5年度就職説明会(理学療法学科・作業療法学科)来校型

日時:7月20日・21日 9月30日 10月1日15時～17時

場所:九州中央リハビリテーション学院1号館

参加施設

都道府県	施設名	都道府県	施設名
熊本	介護老人保健施設リバーサイド御薬園	千葉	亀田総合病院
	天草慈恵病院		安房地域医療センター
	桜十字熊本字城病院		らいおんハート内科整形外科リハビリクリニック
	熊本機能病院		富家千葉病院
	桜十字八代リハビリテーション病院		季美の森整形外科・令和リハビリテーション病院
	人吉リハビリテーション病院	東京	東京さくら病院
	リハスタジオASMO		初台リハビリテーション病院
	武蔵ヶ丘病院		東京ちどり病院
	にしくまもと病院		総合東京病院
	御幸病院		リハビリ特化型デイサービスリハテラス
	朝日野総合病院		五反田リハビリテーション病院
	山鹿温泉リハビリテーション病院	神奈川	東戸塚記念病院
	はまゆう療育園		イムス横浜狩場脳神経外科病院
	平井整形外科リハビリテーションクリニック		JMA海老名総合病院・座間総合病院
	熊本回生会病院		鶴巻温泉病院
	菊池郡市医師会立病院		新百合ヶ丘総合病院
	杉村病院	埼玉	戸田中央メディカルケアグループ(TMG)
	熊本託麻台リハビリテーション病院	大阪	医療法人吉栄会
	くまもと南部広域病院		茨木みどりヶ丘病院
	天草セントラル病院／天草厚生病院		青山メディカルグループ
	熊本セントラル病院		吉川病院 吉栄会病院 壬生大路病院
	西日本病院		みどりヶ丘病院
	桜十字病院		馬場記念病院
	医療法人すえひろ会		医誠会国際総合病院/摂津医誠会病院
	嶋田病院	京都	京都リハビリテーション病院
	リハビリセンターsmile-スマイル-光の森		京都大原記念病院グループ
	青磁野リハビリテーション病院		医療法人社団洛和会(洛和会ヘルスケアシステム)
	熊本整形外科病院	兵庫	川西リハビリテーション病院
	悠紀会病院	福岡	福岡豊栄会病院
	聖ヶ塔病院		久恒病院
	阿蘇温泉病院		国際医療福祉大学・高邦会グループ
	くまもと成仁病院		顚田病院
	済生会みすみ病院		千鳥橋病院/たたらリハビリテーション病院
	平成病院		メディケア癒やし四番館 有田
	株式会社SENSTYLE	佐賀県	副島整形外科病院
	大阿蘇病院	大分県	社会医療法人財団天心堂
	十善病院		大分中村病院
	谷田病院	長崎県	社会医療法人財団 白十字会
	平成とうや病院		長崎リハビリテーション病院
	社会福祉法人 駿光会	鹿児島県	いちき串木野市医師会立脳神経外科センター
	九州記念病院		クオラリハビリテーション病院
	江南病院		大海宮崎クリニック
	桜が丘病院		種子島医療センター
	保田窪整形外科病院		菊野病院
	球磨病院	沖縄県	ウエルフェア九州病院
	済生会熊本病院		同仁病院
	八代敬仁病院		西崎病院

【理学療法学科 昼間部・夜間部 作業療法学科】

令和5年度の卒業生は理学療法学科昼間部45名、夜間部15名、作業療法学科16名の計76名であった。
それに対し、総求人件数は492件、総求人数は4, 125名であった。

【求人状況】

地域	県別	求人 件数	求人 数
九州 257件 875名	熊本	107	303
	福岡	67	268
	長崎	17	56
	佐賀	12	30
	大分	17	64
	宮崎	8	19
	鹿児島	24	123
	沖縄	5	12
四国 3件 203名	愛媛	2	5
	徳島	1	198
中国 21件 77名	山口	8	12
	広島	11	62
	岡山	1	2
	島根	1	1
近畿 54件 543名	和歌山	1	8
	奈良	4	27
	兵庫	10	80
	大阪	29	327
	京都	9	97
	三重	1	4
東海 7件 114名	愛知	3	13
	静岡	4	101
北信越 1件 3名	福井	1	3
関東 146件 2, 256名	神奈川	38	318
	東京都	52	1, 261
	千葉	32	306
	埼玉	19	325
	茨城	2	24
	栃木	1	10
	群馬	2	12
東北 1件 12名	岩手	1	12
北海道 2件 42名	北海道	2	42
合計		492	4, 125

【就職先】

作業療法学科	
県別	就職先
熊本	くまもと成城病院
	はまゆう療育園
	リハビリケアセンターすまいる新地
	九州記念病院
	熊本託麻台リハビリテーション病院
	城ヶ崎病院
	人吉リハビリテーション病院
	水前寺とうや病院
	朝日野総合病院
	八代市医師会立病院
	桜十字病院
東京	IMSグループ
	五反田リハビリテーション病院
神奈川	IMSグループ
愛知	藤田医科大学病院
理学療法学科 夜間部	
県別	就職先
熊本	熊本託麻台リハビリテーション病院
	青磁野リハビリテーション病院
	きぬはら整形外科クリニック
	くまもと県北病院
	水前寺とうや病院
	西日本病院
	平成とうや病院
群馬	慶友整形外科病院
兵庫	阪神リハビリテーション病院
	明和病院
福岡	福岡新水巻病院
鹿児島	米盛病院

理学療法学科 昼間部	
県別	就職先
熊本	リハビリテーションセンター熊本回生会病院
	熊本託麻台リハビリテーション病院
	桜十字熊本宇城病院
	くまもと成仁病院
	くまもと南部広域病院
	菊南病院
	九州記念病院
	熊本リハビリテーション病院
	熊本機能病院
	熊本田崎クリニック
	桜十字病院
	桜十字八代リハビリテーション病院
	山鹿温泉リハビリテーション病院
	十善病院
	杉村病院
	西日本病院
	朝日野総合病院
	通所リハビリテーションひまわり
	田上心臓リハビリテーション病院
	歩行リハビリセンターホコル
群馬	慶友整形外科病院
千葉	らいおんハート内科整形外科リハクリニック
	亀田総合病院
	湯山整形外科
埼玉	富家病院
東京	世田谷おくさわ整形外科病院
神奈川	新百合ヶ丘総合病院
大阪	医療法人医誠会
	みどりヶ丘病院
	馬場記念病院
	加納総合病院
福岡	久恒病院
佐賀	信愛整形外科医院
大分	臼杵市医師会立コスモス病院
宮崎	川南病院
鹿児島	クオラリハビリテーション病院
	米盛病院

【看護学科】

令和5年度の卒業生は59名であった。
それに対し、総求人件数は210件、総求人数は4,815名であった。

【求人状況】

地域	県別	求人件数	求人数
九州 119件 1,513名	熊本	58	454
	福岡	30	662
	長崎	8	153
	佐賀	3	12
	大分	5	38
	宮崎	4	26
	鹿児島	10	108
	沖縄	1	60
	広島	4	63
中国 4件 63名	奈良	1	120
	滋賀	1	20
	兵庫	9	173
	大阪	12	194
	京都	7	149
東海 10件 461名	愛知	6	91
	静岡	4	370
関東 47件 2,122名	神奈川	10	364
	東京都	22	1089
	千葉	7	330
	埼玉	5	266
	栃木	3	73
合計		210	4,815

【就職先】

県別	就職先
熊本	人吉医療センター
	熊本総合病院
	熊本再春医療センター
	熊本機能病院
	熊本医療センター
	熊本セントラル病院
	くまもと県北病院
	くまもと森都総合病院
	くわみず病院
	熊本地域医療センター
	熊本中央病院
	くまもと南部広域病院
	にしくまもと病院
	熊本整形外科病院
	熊本赤十字病院
	熊本南病院
	済生会熊本病院
	桜十字病院
	西日本病院
	福田病院
東京	三井記念病院
神奈川	湘南鎌倉総合病院
愛知	大同病院
兵庫	尼崎総合医療センター
福岡	桜十字福岡病院
	九州医療センター
	香椎丘リハビリテーション病院
	高邦会グループ
	小倉記念病院
	福岡和白病院
鹿児島	米盛病院

【介護福祉学科】

令和5年度の卒業生は26名であった。

それに対し、総求人件数は196件、総求人数は957名であった。

【求人状況】

地域	県別	求人件数	求人数
九州 136件 274名	熊本	96	178
	福岡	31	63
	佐賀	2	10
	長崎	2	10
	大分	1	1
	鹿児島	4	12
中国 3件 11名	岡山	3	11
近畿 13件 77名	兵庫	6	45
	大阪	6	24
	京都	1	8
東海 13件 25名	愛知	12	20
	三重	1	5
関東 24件 532名	千葉	4	16
	神奈川	10	107
	東京都	8	366
	埼玉	2	43
東北 6件 36名	青森	5	15
	山形	1	21
北海道 1件 2名	北海道	1	2
合計		196	957

【就職先】

県別	就職先
熊本	社会福祉法人 リデルライトホーム
	特別養護老人ホーム 輝祥苑
	特別養護老人ホーム 菊香園
	障害者支援施設 くぬぎ園
	医療法人 博光会
	医療法人社団 坂梨会
	医療法人社団 仁誠会
	介護付有料老人ホーム つどいの杜
	グループホームクオン
	しょうぶ苑グループ
	社会福祉法人 熊本東翔会
	社会福祉法人 三加和福祉会
	特別養護老人ホーム こぼり苑
	特別養護老人ホーム しらぬい荘
	特別養護老人ホーム たいめい苑
	特別養護老人ホーム 琴平本町
	特別養護老人ホーム 桜の丘
	特別養護老人ホーム 白川の里

III-7 卒業式・学生表彰

令和6年3月7日（木曜日）来賓、保護者、学院関係者が見守る中、熊本市民会館シアーズホーム夢ホールにて卒業式が挙行された。作業療法学科15期生16名、理学療法学科15期生45名、理学

療法学科夜間部16期生15名、看護学科13期生59名、介護福祉学科12期生26名の計161名に対し卒業証書を授与した。また関係団体等から表彰が授与された。

（表1）

学生表彰（表1）	作業療法学科	理学療法学科	理学療法学科 夜間部	看護学科	介護福祉学科
全国リハビリテーション 学校協会「優秀賞」	光武大輔	渡邊尚哉	岩坂円花	🌸	🌸
日本理学療法士協会 「優秀賞」	🌸	松岡嶺治	久村知也	🌸	🌸
日本作業療法士協会 「優秀学生証」	渡辺綺花	🌸	🌸	🌸	🌸
日本介護福祉士養成施設 協会「会長表彰」	🌸	🌸	🌸	🌸	藤本美咲
財団法人職業教育・キャリア 教育財団「学習者表彰」	宮村春菜	告口琴依	久保湜汰	上村咲希	森田 響
九州作業療法士学校連絡 協議会「学業優秀賞」	坂田美梨	🌸	🌸	🌸	🌸
熊本県専門学校各種学校 連合会会長表彰	江藤 凜	告口初鳴	中川侑哉	本郷真里	下田大輝
熊本県作業療法士会 「会長賞」	弟子丸愛未	🌸	🌸	🌸	🌸
熊本県介護福祉士会 「会長賞」	🌸	🌸	🌸	🌸	上村胡桃
学校法人立志学園 理事長表彰	小島弥侑	菅原啓太	吉田周平	前川帆乃香	ダハルロサン
九州中央リハビリテーシ ョン学院後援会会長表彰	松田 央	水野達也	林田健吾	中本幸太	吉田拓未



理学療法学科

令和5年度 学校法人 立志学園

九州中央リハビリテーション学院 卒業式



理学療法学科夜間部



看護学科

令和5年度 学校法人 立志学園
九州中央リハビリテーション学院 卒業式



介護福祉学科



IV 教育活動

1 作業療法学科・理学療法学科

【作業療法学科】

5月より新型コロナウイルス感染症も5類に移行したが、学内マスク着用など最低限の予防対策は継続した（平成6年度よりマスク着用は任意）。また、実習前2週間は特に感染対策を当該学年は強化し、実習先に可能な限りの配慮を継続した。学内および実習も滞りなく進めることができた。

（学年横断的取組）

①4月5日（水）

「第1回下剋上国家試験模試」

2年生か4年生まで、国家試験の日程に準じて国家試験模試を実施した。

新年度の学習意欲向上を狙い、名前の通り、4年生の最低点を越えた学生を表彰した。

②4月17日（月）

「1年生2年生の交流レクリエーション」

学校生活に早く馴染んでもらうことを目的に実施。今年度は、ソフトバレーを行った。

③5月10日（水）

4年生の「身体領域評価実習終了後症例報告会」に3年生が参加。

次年度、自分たちに課せられる課題を事前に知って、学習に真摯に取り組んでもらうため実施。

④7月10日（月）

「1年、2年合同での基礎作業学実習」

1年「作業療法学概論」、2年「基礎作業学実習Ⅱ」の授業の一環で実施し、1年生を患者役として2年生のコミュニケーション能力および指導力向上を図った。

⑤1月12日（金）

「2年、3年合同老人施設でのグループ訓練報告会」

授業に一環で行った老人施設でのグループ訓練の成果の報告を行い、意見交換をし、知識を深めた。

（1年）担任：本田 直、副担任：赤石 めぐみ

1）体調報告および欠席等の連絡の徹底

安易に欠席しないようメールではなく、電話による連絡を徹底した。

2）学習習慣の確立

解剖生理学や運動機能学の小テストを実施、また基礎セミナー、ホームルームを活用し解剖生理学、運動機能学の課題で勉強の仕方の指導並びに学習習慣の確立を促した。

3）職業・資格に対する早期意識づけ

「作業療法概論」の授業や他学年との合同授業を通じ、作業療法学科全教員が輪番制で授業を行い、それぞれの専門分野の立場から作業療法についての魅力を伝え、学習意欲を刺激した。

専門職としての意識付けを早期に行うために、10月5日（日）の「2013 パラスポーツ フェスタ くまもと」にボランティアとして作業療法学概論演習の授業の一環で参加し障害者とふれあう機会を設けた。

4）個別面談並びに保護者面談の実施

新しい学習生活に早期に馴染むように、また継続できるように年間を通して個別面談を計画的に実施した。また、欠席が目立ってきた学生など問題が生じた学生の保護者への連絡も密に行い、学生・保護者・担任・学科長による四者面談も行った。

(2年) 担任：大塚 開成

- 1) 学院関連の高齢者施設での体操・脳トレの実施体験
- 2) 1年生をモデルに支援体験

(3年) 担任：亀尾 香珠代

- 1) 実践的 OT プログラム立案と実施体験
- 2) 1年生に対する指導体験

コミュニケーション能力の向上を図り、生同士の共同学習を支援する目的で、「日常生活活動」の授業で1年に対して車いすの操作や介助、移乗法を指導してもらった。

このことは知識の確認とコミュニケーション能力、他者に対しての支援力を高める機会になっている。1年生にとっては先輩に憧れを抱き、学習意欲の向上に繋がればと考える。

(4年) 担任：赤石 めぐみ、副担任：山崎 孝文

- 1) 夜間開校の有効活用

本学は、夜間部があるため夜の10時まで学習室など活用できることが他校にない有利な点でもある。自宅に帰ってしまうと持続的学習ができない学生は学院で学習して帰るように指導した。

- 2) 細かな進捗分析と学習支援

模試作成システムを活用し、特に国家試験対策開始初期(10月、11月)は細分化した範囲で学習と模試を繰り返して基礎知識の十分な学習と理解、修得を図っている。

これらを通じて理解不十分な学生、学習法に問題がある学生のピックアップをはかった上で、さらに模試の成績が下位1/3に入った学生に対しては、早期介入に心掛け教員一丸となってフォローアップ体制を組んでいる。

また、試験日1ヶ月前になると合格ボーダーラインの学生に絞り、教員が集中講義を手分けして行った。

文責 学科長 山崎孝文

【理学療法学科(昼間部・夜間部)】

理学療法学科 総括

臨床現場では、いまだに感染問題に難渋することもあったが、臨床実習をはじめ講義等においても対面での実施となり、通常体制に戻せた一年であった。学生からも座学よりも直接見学、実施が可能となったことで学ぶことが多く、理学療法業務の認識と重要性が伝わり、将来像の構築に大きな成果が持てたと認識している。

下図は、2023年度進級状況及び2024年度新体制である。昼間部退学者16名（5.9%）、夜間部9名（12.7%）と夜間部の退学者割合が目立っていた。その理由として昼・夜の共通問題の多くは成績不良であるが、昼間部ではアルバイトなどに時間をかけ学業に取り組むリズムの構築ができなかった者が目立ち、夜間部では精神疾患を抱えることで学習リズムが構築できないなどの特徴が目立った。しかし、各担任が保護者との密な連絡を早期に取りながら対策を講じたことで、予測よりも少ない人数でおさまったと感じている。また、外部(第三者)への依頼介入などを行ったことで担任では気づけない情報もあり、学生個人が抱える問題の発見につながったことも有用であった。

なお、進級状況は、一昨年度82%、昨年度86%から今年度90.6%と改善が認められた。夜間部においても一昨年度、昨年度ともに65%であったが、今年度81.5%であったことは成果として認められるものであった

2023年度	昼間部	在籍	進級	退学	留年
進級状況	1年	84	72	11	1
	2年	73	71	0	2
	3年	67	60	4	3
	4年	46		1	0
	夜間部	在籍	進級	退学	留年
	1年	29	24	5	0
	2年	25	20	4	1
	3年	17		0	2
2024年度	昼間部	在籍(留年)	担任		
	1年	71(1)	石原	林田	
	2年	74(2)	福岡	井手	
	3年	74(3)	中山	平田	
	4年	62(2)	飯星	原田	
	夜間部	在籍(留年)	担任		
	1年	17	岸本		
	2年	25(1)	岩下		
	3年	22(2)	渡久山		

◆2024年度 担任目標

昼間部：大きな目標は例年と同じく「退学・留年者を無くす」ことを目標としているが、その対策として学生自身が目標を持てるように介入することを課題としている。やらせるのではなく、自ら行動できる学生の育成を目標に学年ごとに計画を立て実施予定である。

夜間部：昼間部と同じく「退学・留年者を無くす」ことが目標であるが、切り詰めた時間のなかで、実技練習時間を作るなど、より具体的な対応策が計画されている。コミュニケーション力、リーダー役の育成など臨床実習、国家試験を見すえた長期計画の取り組みを検討している。

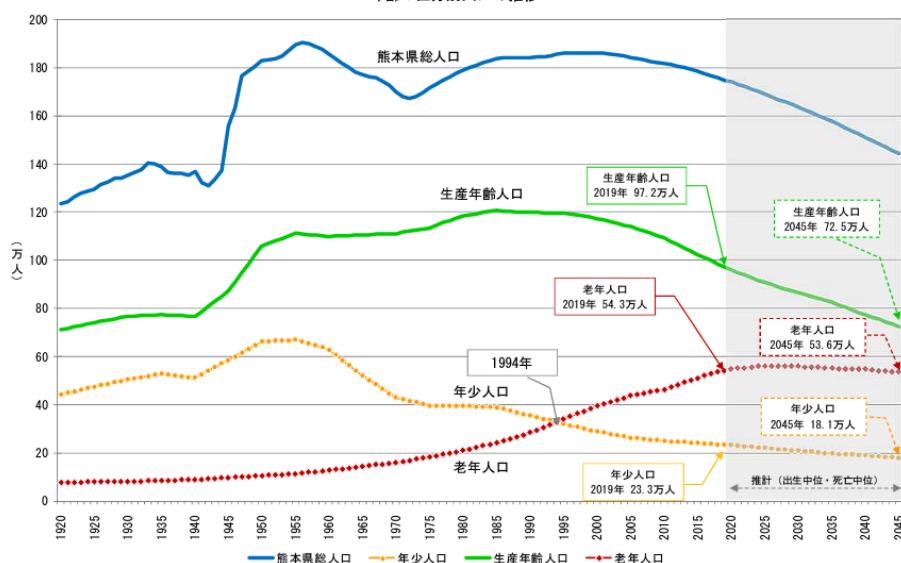
1. 教育

2023 年度の入試状況からもわかるように、少子化の影響は明確となり、学力の低下する学生対応と発達障害に関する対応に労力の分担が余儀なくされる一年であった。単に学力不足だけではなく、その背景にある問題まで関与する担任負担に教育方針の計画見直しが喫緊の課題として浮上している。また、国家試験全員合格とする大きな目標を維持するためには、講義内容も含め各科目講義内容の連動するカリキュラム長期計画プランを具体化する必要がある。その具体的施策として運動器演習科目の学年をまたいだ科目連携である。診療参加型に対応し、その先にある国家試験にまで結び付く実験的計画を始動させることとなった。今後、他の科目についても随時計画の実施を行う予定としている。

2. 広報

昨年度と同じくガイダンス、オープンキャンパスへの参加者減少（-6.7%）が目立つようになった。少子化数から見れば妥当な数字ではあるが、傍観してばかりはいられない。参加者の4割が入学に結び付いてると報告されてはいるが、6割のものの未受験者の動向が気になるところである。また、他大学においても少子化は影を落としてしていると聞いている。その対策なのか、出前授業など地方高校と連携する対策が始動した大学、また市をバックに動き出した大学もあり、その影響は今後も拡大すると思われる。広報だけではなく学院全体として、早期の情報収集と対応策を講じる必要性を強く感じるところである。

年齢3区分別人口の推移



3. 臨床実習

対面での臨床実習が施行できた。指導者会議も対面での開催となりコロナ前に担当していただいていた指導者が変更となり、新たな体制での実習を迎えることとなった。実習形態も臨床参加型となり全国に準じた体制での実習が行える体制が整った。積極的の学生にとっては物足りない点も認められるが、知識やコミュニケーションに苦手な学生にとっては実習の成果が得られやすいシステムとなった。今後も臨床に直結する実践力のある学生を育てることを目標とし、専門的知識の習得支援を行う計画である。なお、感染問題はコロナ問題だけではなく医療に関する機関では今後も起こりうる事例として対応できるシステムは維持することとしている。

昨年度の臨床実習結果としては、1名が退学し、2名が休学となった。退学となった学生は長期実習2期目において自信を無くし、継続するイメージを持てずに退学となった。1年次より学力低下が目立つ学生でもあり、実習を継続する自信を無くしたのではと推察された。また、休学となった学生の1名はコミュニケーション能力に問題があり、医療人としても危険行為が多々認められ不合格となった。他の1名は、実習地での規律違反を行い実習中止となり休学となった。しかし、休学者は各々の問題を反省と共に克服する準備を進め、次年度再チャレンジする予定である。

4. 就職（求人状況）

求人数に関しては、令和4年度の124%となっており、九州外の求人が増加していた。募集時期も九州外、特に関東・関西方面の求人時期が早くなっていたため、就職への意識付けを早期に行ったことで活動が早まり、その結果国家試験準備への悪影響も少なかった。

今回の就職先希望状況は例年と違い一般病院を希望する意見が多く聞かれ、クリニック系を敬遠するようになった。これまでは、より専門的技術・知識を学べる施設を希望する意見が多かったが、具体的方向性が決められないのか、まずは中枢・整形を全般に学びたいと希望する選択が多かった。

令和5年度 総数2221名：熊本154名、他九州300名、九州外1767名

5. 国家試験

令和5年度国家試験結果

学院 98.3%（合格：59名/60名合格、不合格：1名/60名）

全国（新卒）95.2%

全国（総数）89.2%

※1名の不合格者は、次年度リトライとして参加希望あり。

◆令和5年度 国家試験対策で合格に必要なと考えるスローガン

- ① あなたの意識が全員合格につながる！みんなの意識が全員合格につながる！！
- ② 国家試験に合格するためにやるべきことを正確に行動に移し、周囲と波長を合わせお互いを高め合う。
- ③ 理学療法士は支援者であるという事を念頭に置き国家試験合格という共通目標に向かって互いに支え合い個々が成長していくことが重要である。
- ④ 学生・教職員全員が『無理』だという幻想に浸ることなく、全員合格というリアル（今後生じる現実）に向けて考え行動し続けること。
- ⑤ 全員でやるべき事を黙ってやり続ける。そして全員で目標を達成する！

今回の学年は、例年になく秀でた学生を認めず、下位層の厚い群であった。そのため平均点等は例年と差はなく推移していたが下位群の伸び悩みに翻弄された。しかし、スローガンのもとあきらめずに目標を目指した結果、昼間部は45名全員が合格し、夜間部は15名中1名が不合格となったが高い合格率を達成することができた。鰐部ゼミナールと連携し、低迷する学生の底上げを行うことができた経験は今後の対策に大きな成果となった。次年度も同様の対策を講じつつ全員合格ののろしを上げたいものだ。

6. まとめ

昨年度立てた少子化問題など解決されないまま継続問題視されていることは、反省すべきことと思われる。しかし、教育・経済・医療・政治・世界情勢と関連する問題は大きく、つねにアンテナを張り先行する対応ができる危機管理体制を構築する姿勢を大切に、次年度も情勢観察と共に取り組んでいきたい。また、第三者評価機関から学校評価を受ける年となったため、再度足元の見直しと共に良き教育支援ができる準備を進めていきたい。

文責 学科長 田島徹朗

第 113 回 看護師国家試験について

九州中央リハビリテーション学院 看護学科

1. 試験の概要

問題種別	必修問題	一般問題	状況設定問題
問題内容	看護師としてとくに基本的かつ重要な知識及び技術について出題される。基本的な知識があれば、必ず答えられる内容。4肢または5肢択1問題。	解剖生理から疾患、看護ケアまで幅広く出題される。4肢択1問題または、5肢択1または択2問題。5肢択2の問題を増やすことでアセスメント能力を問われる問題が多くなってきた。	在宅にシフトした現場レベルの問題が多く応用力や判断力が求められる。現場に直結する内容のため、1問あたりの配点を高く設定。
出題数	50 問 (午前・午後 問題 1～25)	130 問 (午前・午後 問題 26～90)	60 問 (午前・午後 問題 91～120)
配点	1 問 1 点	1 問 1 点	1 問 2 点
合計点	50 点	130 点	120 点
合格基準	8 割 (50 問中 40 問) 以上の正解が必要。一般問題や状況設定問題の正答率が高くて、必修が取れていなければ「合格」にならない。	一般＋状況設定問題 (その年によって違う) 第 105 回 151 点/247 満点 第 106 回 142 点/248 満点 第 107 回 154 点/247 満点 第 108 回 155 点/250 満点 第 109 回 155 点/250 満点 第 110 回 159/250 点満点 第 111 回 167/250 点満点 第 112 回 152/249 点満点 第 113 回 158/250 点満点	

2. 看護師国家試験合格率の推移

		1 期生 (第 101 回)	2 期生 (第 102 回)	3 期生 (第 103 回)	4 期生 (第 104 回)	5 期生 (第 105 回)
全国	新卒合格率	95.1%	94.1%	95.1%	95.5%	94.9%
本校	新卒合格率	94.4%	100%	85.7%	100%	98.6%
	既卒合格率		50.0%		83.3%	
		6 期生 (第 106 回)	7 期生 (第 107 回)	8 期生 (第 108 回)	9 期生 (第 109 回)	10 期生 (第 110 回)
全国	新卒合格率	94.3%	96.3%	94.7%	94.7%	95.4%
本校	新卒合格率	100%	92.2%	88.4%	96.9%	98.5%
	既卒合格率	100%		75.0%	75.0%	60.0%
		11 期生 (第 111 回)	12 期生 (第 112 回)	13 期生 (第 113 回)		
全国	新卒合格率	96.5%	95.5%	93.2%		
本校	新卒合格率	95.2%	98.6%	98.3%		
	既卒合格率	66.6%	100%	0%		

3. 問題の傾向と今後の課題

今回の看護師国家試験は、看護師国家試験対策を行っている大手予備校調べで、必修問題の平均点が過去 10 年間に於いて最低の 42.5 点（112 回の平均点 46 点）であった。正答率が 60% 以下の問題は 50 問中 5 問（112 回は 1 問）あり、不適切問題が 6 問と過去最多であった。必修問題は例年、単純想起型問題を中心に構成されており、正答率が高い問題がほとんどであるが、今回は本校でも「午前も午後も難しかった。」と答える学生が多かった。必修問題は、基礎的な知識を問う問題であり、例年、統計学的な問題や保険制度に関する問題、専門基礎分野、基礎看護技術に関する問題が出題されていて、今回も大きな変化はない。1 年次からコツコツと「自分がわかるまでくり返し学習する」ことを続けてきた学生は満点に近い点数であった。

全体的な出題数でみると、前回の 112 回との比較では、人体、疾病、社会、老年、精神、在宅が増加していた。逆に減少していたのは基礎、成人、小児で、成人は 11 問も減少していた。わが国の少子高齢化、地域包括ケアへの移行といった社会情勢を踏まえた知識が問われる傾向になっている。

今回は、現行カリキュラム最後の国家試験であったが、2022 年以降の新カリキュラムは、コミュニケーション能力のさらなる強化、臨床判断能力や倫理的判断・行動に必要な基礎能力を養うためのシミュレーションを活用した演習の強化を学ぶ内容となっているため、今後も基礎的な知識を根拠とともに理解していく学習をおこない、さらに新出題基準で追加された項目に対しての学習も必要とされる。

状況設定では、今回初めて「看護の統合と実践」の中項目「複合的な状況にある対象や、複合的に提供されている看護の状況を判断し、危険を回避する取組み」に該当する問題が出題された。地震による災害時の看護を問う問題であったが、わが国での度重なる自然災害に対応できる看護師の育成が求められていることがわかる。また、保健師国家試験に出題された問題が今回出題されていて、看護師にも保健指導力が求められている。その他には、外国人家族への対応を問う問題もあり、海外から就労などで移住している外国人も増えており、国内における国際看護も必要になってくる。

今年度は、感染症法の分類で新型コロナ感染症も五類感染症に見直され、感染予防対策はとりつつ、臨地で様々な患者様や看護師の諸先輩方と出逢うことができた。そして、その関わりの一つ一つに学生個々の心が動き、動かされ、遠のいていた旬の学びができた。当学科の看護師国家試験対策の特徴として、臨地で様々な患者様・疾患と出会いその中で知識を深め、国家試験の学習を行うことで自分の行った看護を振り返る機会を得て、知識の定着へとつなげている。今年度は実習で変化する患者様を捉えることに難しさを感じ悩みながら一生懸命に学習したこと、看護師の方々との看護実践という貴重な経験をもとに、国家試験対策、そして国家試験につなげることができた。

「看護師」国家試験は、従来より難問を課して志願者をふるい落とそうとするものではなく、看護基礎教育を収めた学生達が、ある意味「新人看護師」と呼べるかどうかの「知識」確認試験である。また、それ迄の学習のプロセスにおいても無資格ながらも「患者様」との関わりなくして成立するものではない。今年度は新カリキュラム完成年度になり、臨地での実習時間は短くなるが、学内の時間で患者様に出逢う準備をし、基本的な知識をもって実習できるよう、そして関り一つ一つを大事にできるようにしていく。短い時間だが、そのなかで看護師になるための学びを得る経験ができるよう、後輩となる看護学生を医療福祉チームの仲間に入れていただいている。実習後はその経験を丁寧に振り返り、学習を深めることで国家試験対策に繋げていこうと考えている。臨地での実習を大切に、学生達が安心してやるべき事の一つひとつを積み上げ、同時に人間性を育み、3 年後には必ず「人の命を預かる者」としての構えが出来ていくよう、指導する私達のスキルアップも重要である。

4. 今年度の実績

・現役受験者 69 名 ⇒ 合格者 68 名 (98.3%) ・既卒受験者 1 名 ⇒ 合格者 0 名

* 不合格者については、継続的に指導し、次年度の合格を目指す。

教育研修

日 時：令和 5 年 6 月 30 日（金）～7 月 1 日（土）

場 所：九州中央リハビリテーション学院（2 号館）

目 的：1. 活動を通し、学生間の相互理解と親睦を深め、協調性を養う。
2. 人間関係論の集中講義を通して人間関係向上のスキルを学ぶ。

対 象：名（男子 8 名、女子 59 名）

内 容：

1. 講義及びグループワーク
2. 活動

人間関係論は、「人間と人間の生きた関わりにおいて人間の本質、人間の固有性があらわれてくる。人間存在と人間関係の本質的な事実を学び、人間関係技法の基礎的知識を養う」ことを学習目標としている。

他者との関係をいかに築くかは、看護の基盤であり、そのスキルを身につけることが看護基礎教育ではとても重要である。現代の若者の特徴として、コミュニケーション力や接遇力の低下が課題となっており、向上の第一歩としてこの授業の持つ意義は大きい。今年度も全員出席の中 2 日間の研修が滞りなく終了した。この時期は、入学して 3 ヶ月が過ぎ、入学当初の緊張感は幾分和らぐものの、違った一面が見えだして、居心地の良し悪しを感じるようになる。

また、特に貴重な高校生活時代をコロナ禍で過ごすこととなった 1 年生においては、感染予防のための対策としては有効であったが、人間関係を築く上での表現力、行動力が消極的な育ちとなってしまったことは否めない。

そのような中、この 2 日間の研修は学生達にとって、救世主的意味あいとなり、仲間関係に進展があったようだ。。

例年通り、研修当初は、表情も若干硬く、集中切れの学生もチラホラ…。しかし、今回もまた、学生を知り尽くされている講師の先生の人間力とスキルによって、学生達の硬い鎧もはがれ、徐々に笑顔の花が広がっていた。

自分を見つめる事は、学生に限らず難しくもある。しかし、その事抜きに自己成長も期待できない。色々な場面でデジタル化が進み、また SNS が日常に広く深く浸透していく中、人との関係も繋がり方も大きく変化している。その在り方が人そのものの人格形成にどのように影響していくのか、一抹の不安がよぎる。しかしながら、その状況を踏まえつつ学生と共に更に進化できるよう努力していきたい。

IV-3-1 介護福祉学科教育課程

					1 学年次		2 学年次	
領域	教育内容	科目名	単位	時間	前期	後期	前期	後期
人間と社会	人間の尊厳と自立	人間の理解	2	30	30			
	人間関係とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーション	4	60	30	30		
	社会の理解	社会の制度と理解Ⅰ	2	30			30	
		社会の制度と理解Ⅱ	2	30				30
	人間と社会に関する選択科目	スマート介護	2	30			30	
		ミュージックプロデュース	2	30	30			
		エンターテインメント	2	30	30			
		エスティックケア	2	30		30		
		フォトグラフィー	2	30		30		
小計		20	300	120	90	60	30	
介護	介護の基本	介護の基本Ⅰ	1	30	30			
		介護の基本Ⅱ	1	30	30			
		介護の基本Ⅲ	1	30		30		
		介護の基本Ⅳ	1	30		30		
		介護の基本Ⅴ	1	30			30	
		介護の基本Ⅵ	1	30				30
	コミュニケーション技術	手話	1	15		15		
		点字	1	15		15		
		コミュニケーション技術	1	30			30	
	生活支援技術	生活支援技術Ⅰ	1	30	30			
		生活支援技術Ⅱ	1	30	30			
		生活支援技術Ⅲ	1	30		30		
		生活支援技術Ⅳ	1	30	30			
		生活支援技術Ⅴ	1	30		30		
		生活支援技術Ⅵ	2	60			60	
		生活支援技術Ⅶ	1	30			30	
		生活支援技術Ⅷ	1	30		30		
		生活支援技術Ⅸ	1	30				30
	介護過程	介護過程Ⅰ	1	30	30			
		介護過程Ⅱ	2	60		60		
		介護過程Ⅲ	1	30			30	
		介護過程Ⅳ	1	30				30
	介護総合演習	介護総合演習Ⅰ	1	30	30			
		介護総合演習Ⅱ	1	30		30		
		介護総合演習Ⅲ	1	30			30	
		介護総合演習Ⅳ	1	30				30
	介護実習	介護実習Ⅰ	2	80	80			
		介護実習Ⅱ	5	200		200		
		介護実習Ⅲ	5	200			200	
	小計		40	1290	290	470	410	120
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	発達と老化の理解A	1	30		30		
		発達と老化の理解B	1	30		30		
	認知症の理解	認知症の理解A	2	45	45			
		認知症の理解B	1	15				15
	障害の理解	障害の理解A	1	30			30	
		障害の理解B	1	30				30
	こころとからだのしくみ	介護とリハビリテーション	2	45	45			
		こころとからだのしくみA	1	30		30		
		こころとからだのしくみB	2	45				45
小計		12	300	90	90	30	90	
医療的ケア	医療的ケア	医療的ケアの基礎Ⅰ	2	45			45	
		医療的ケアの基礎Ⅱ	1	30			30	
		医療的ケアの基礎Ⅲ	1	15				15
		医療的ケアの実習（見学）	1	15			15	
	小計		5	105	0	0	90	15
総計			77	1995	500	650	590	255

IV-3-2

学科の特徴的な取組と実績

【介護福祉学科】

介護福祉学科では、入学時より自主性・社会性を養いながら、授業や実習を通して介護福祉士としての必要な知識・技術・態度を育むカリキュラムとなっている。美容や娯楽、写真や音楽などの基礎を習得できる複合的なカリキュラムも導入することで、将来の選択肢も広がっている。学生は将来をイメージすることで、自らの目標を明確にし、講義内容の理解を深めていくことができる。

教員は福祉・保健・医療を統合した総合ケアの視点を持ち、豊富な現場経験を活かした授業を展開しており、情熱と教養のあるきめ細かな教育・指導を行っている。

学習環境について、設備面も大変充実している。介護実習室ではタイプの違うベッドが計 8 台あり、いろいろな状況に合わせた生活支援技術の習得に役立っている。家政科実習室では調理台を 8 台、電子レンジも 8 台設置しスムーズな調理実習に適した環境となっている。

2 年間を通しての介護実習では、学内の講義や演習で学んだ「人間と社会」「介護」「こころとからだのしくみ」「医療的ケア」などの専門的な技術と知識を、実際の介護現場において実践し、自己の課題に向き合い、新たな学びへと成長していく機会としている。そして、利用者のみなさまや現場で働く介護福祉士としての必要な知識・生活支援技術・徳育を育むことを期待している。

昨年度に引き続き今年度も、新型コロナウイルスの影響、感染対策の観点により宿泊による実習を希望される実習事業所も少なくなかった。学生は実習期間中、事業所から指定された宿泊所に滞在しながら実習に取り組んでいった。そのような事もあり学生はコロナ禍においても実習を受け入れてくださった実習施設の皆様へ、感謝の気持ちで実践的な学びを深めることができた。また介護現場での感染症への必要な知識や、具体的な感染対策を行い、利用者の命を守る姿勢や職業倫理を学ぶこともできた。

介護福祉学科では学生全員が、ボランティアサークル「クローバー」に所属し、障がい者・高齢者施設で行われる行事などに積極的に参加している。しかし新型コロナウイルス感染症の影響で、現在、ボランティアの依頼は少なく、可能な範囲で対応できるようにしている。

2 年次の就職活動については、履歴書の書き方の指導や面接試験対策指導、小論文試験対策として、新聞の時事関連記事を用いて、読み方、解き方などを指導した。

結果、就職率は 100%、学生全員が希望する介護施設へ就職することができた。

第 36 回介護福祉士国家試験は予定通り、1 月 28 日グランメッセ熊本で実施され、本学院からは 26 名（日本人 18 名、留学生 8 名が受験した。）

全国の合格率は、82.8%、本学院の合格率は 81%、日本人は 94%、留学生は 34%と全国の合格率を下回ったが、全国介護福祉士養成施設ルート合格率の 71.5%よりは上

回った。

また、新型コロナウイルスの影響から安全に国家試験を受験するため1月22日より自主当校の措置をとった。その間自宅学習の学生にはリモートでの学習支援、登校の生徒には随時支援を行った。

IV-3-3 介護福祉学科 第12期生 卒業発表会

日時 令和6年3月20日(火) 9時30分～12時40分

場所 九州中央リハビリテーション学院 1号館5階 講堂

令和5年度 12期生 卒業発表会

- (1) 日本でICT・DX化を実現するために ～ICTとDX介護の未来～

(リーダー) ダハルロサン (メンバー) ボハラクスム、金子雅

- (2) 人生の最終段階におけるスピリチュアルケアについて

(リーダー) 森田 響 (メンバー) 福本憲伸、ダルラミアスミタ

- (3) レビー小体型認知症の症状と対応

(リーダー) 吉田 拓未 (メンバー) 金子春香、藤本美咲

- (4) 認知症の地域制について ～熊本県の現状を介護に活かすため～

(リーダー) 高田 星斗 (メンバー) アチャリアジョティ、阿部美和

- (5) 良好な人間関係を築くためには

～対人関係におけるコミュニケーションについての考察～

(リーダー) 平川 愛華 (メンバー) 荒木絢華 本田透香、ラマビニタ

- (6) 高齢者の自宅での生活支援 ～身体障害者に対しての自宅での対応～

(リーダー) 下田 大輝 (メンバー) ボハラレニシャ、カワルヨギラジェス

(7) 福祉用具の有効性

(リーダー) 石本 慎一朗 (メンバー) シルワルアジタ

(8) 日本における介護人材不足の現状と今後の人材確保による方向性

(リーダー) 北村 翔太郎 (メンバー) 上村胡桃、長島琉汰、原田千凜、殖田梨瑚

V 研究・研修実績	
名前	タイトル、出版社、年など
V-1 執筆・論文	
河野文夫	医療相談室 血液内科 "血友病治療の進歩" 総合文化誌 KUMAMOTO 44 204ページ 2023.9
河野文夫	"森国久と草の根民主主義"を読んで なみおと 19号 5ページ 2023年8月15日(火) 森国久顕彰会
河野文夫	"同門からの寄稿 学会報告、論文などの思い出" 血液・膠原病・感染症内科(第二内科)年報 2022.4-2023.3 204ページ
河野文夫	"蟻田功先生を偲んで～国立熊本病院・国際保健医療交流センター・WHO～ 蟻田功先生追悼記念文集 22ページ 2023.6 蟻田功先生追悼集発行実行委員会"
河野文夫	蟻田先生の熊本発の国際医療協力について 蟻田功先生追悼 「天然痘根絶の軌跡から学ぶ」37～38ページ 蟻田功先生を偲ぶ会発行
河野文夫	クマモトを読む "相浦忠雄遺稿集復刻版を読む" 69-80ページ 総合文化誌KUMAMOTO 43 2023.6
河野文夫	"球磨・人吉地方巡検研修旅行報告" 熊本近研会報 第623号 2～11ページ 2023年11月1日
河野文夫	"球磨・人吉地方巡検研修旅行報告(Ⅱ)" 熊本近研会報 第625号 2～8ページ 2024年1月1日
岸本 稔	1)岸本稔、堀本ゆかり、金子秀雄「理学療法士を目指した志望動機の程度と生涯学習に対する関心および自己効力感の関連性に関する調査研究」第19回日本リハビリテーション教育学会誌、第6巻 特別号2号：2
田島 徹朗	シンプル理学療法学シリーズ『義肢装具学テキスト 改訂第4版』分担執筆；義足 膝継手
V-2 学会発表	
大塚 開成	1)柏尾未来、大塚開成、中山彰子、島添雅弘、築城祐正「脳卒中患者の身体イメージへ着目した介入により痛みが軽減し日常生活動作介助量軽減が図れた一例」第19回熊本作業療法学会、11.26
岸本 稔	1)岸本稔、堀本ゆかり、金子秀雄「理学療法士を目指した志望動機の程度と生涯学習に対する関心および自己効力感の関連性に関する調査研究」第19回日本リハビリテーション教育学会2023.12.23
本田 直	1) 本田直, 山野克明「作業療法士が有する職業倫理観に関する調査研究」第57回日本作業療法学会2023.11.10
V-3 講演など	
V-4 学会座長など	
河野文夫	熊本県内科医会学術講演会座長 国立病院機構熊本再春荘医療センター リウマチ科部長 リウマチセンター長 関節リウマチ治療の変遷～診断から薬物治療まで～2023年6月12日 19時 熊本県医師会ホール
V-5 その他(講義・査読など)	
福岡 進	トレーナー)①熊本工業高校野球部 2018.3.15～ 研修会スタッフ)熊本県理学療法士協会 倫理委員会 研修会 2023.10.1
中山 貴文	講義)熊本県立大学 環境共生学部 栄養運動生理学・栄養運動生理学実習 トレーナー)①特別国民体育大会かごしま国体帯同(剣道競技:熊本県成年女子)2023.10.8 ②令和5年度国民体育大会 第43回九州ブロック大会帯同(剣道競技:熊本県成年女子) 2023.8.20 ③第15回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会帯同(熊本県成年女子)2023.7.9 日本武道館
飯星 雅朗	査読)九州理学療法士学術大会2023 in 熊本
田島 徹朗	査読)九州理学療法士学術大会2023 in 熊本 マネージャー)熊本県臨床実習指導者講習会(都道府県講習会)2023.9.9-10
山崎 孝文	査読)九州作業療法学会2024in大分
	講義)①福祉用具専門相談員指定講習会 熊本職業能力開発促進センター 2023.9.12～13 ②福祉用具専門相談員指定講習会 熊本職業能力開発促進センター 2024.3.11～12
大塚 開成	講義)①現職者共通研修「作業療法の可能性」(web) 2023.9.19 ②くまもと成城病院新人研修会「情報収集について」「目標の立て方について」 2023.6.16、6.23 ③第1回厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会「臨床実習における管理・運営」(web) 2023.7.29 ④第2回厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会「臨床実習における管理・運営」(web) 2023.12.9 ⑤熊本認知神経リハビリテーション研究会 研修会「特異的病理について」(web) 2023.11.22 ⑥熊本認知神経リハビリテーション研究会 研修会「ダウン症児の箸操作に対する関り～『力加減』に対してどのように介入するか～」2024.3.2
	査読)九州作業療法学会2024in大分 第19回熊本作業療法学会
亀尾香珠代	査読)九州作業療法学会2024in大分
赤石めぐみ	支援事業)熊本刑務所(熊本県作業療法士会派遣事業)2022.10～ 運営)第19回熊本県作業療法士会 運営アドバイザー 2022.11～2023.11
井手 義智	訪問支援)熊本県理学療法士協会 児童発達支援事業 2023年5月・7月・9月、11月、2024年1月、3月 研修会スタッフ)日本小児理学療法学会研究支援セミナー ファシリテーター 2023.6.3 熊本県理学療法士協会専門領域部小児班主催研修会(基礎編) 2023.11.12 熊本県理学療法士協会小児班主催 第4回スキルアップ研修会・参加型情報共有会議 2024.2.4 発表)熊本小児療育研究会 定期研修会 症例報告「ブラダウィリー症候群をもつ児への理学療法」2024.3.26
原田 恭兵	トレーナー)第22回全国障害者スポーツ(燃ゆる感動鹿児島大会)大会帯同 2023.10.28～2023.10.30 講義)熊本市西区公開講座「介護予防に効く！体操とおはなし」2023.9.30
河口万紀子	査読)九州作業療法学会 2022in大分
川窪昭子	講義)令和5年度 外国人介護人材のための資格取得支援講座 講師 2023. 11.4、12.16 講義)介護福祉士実務者研修「医療的ケア」
岸本 稔	運営・講師)Redcord Basicコース開催 2023.8.26-27 当学院にて 講師)臨床実習指導者講習会 全国リハビリテーション学校協会主催 2023.9.9-10 運営・講師)Redcord Basicコース開催 2024.3.9-10 当学院にて

野島謙一郎	講演)令和5年度九州障害者支援施設協議会「介護人材確保・育成について」2023.6.19 講義)令和5年度 外国人介護人材のための資格取得支援講座 講師 講義)九州看護福祉大学社会福祉学部 後期非常勤講師 講義)熊本県介護福祉士会ファーストステップ研修講師2023.09.21 講義)熊本県介護福祉士実習指導者研修 講師 2023.08.20 講義)日本介護福祉士会 介護職種の技能実習指導員養成研修 2023.11.26 講義)熊本県介護福祉士会技能実習生等集合研修 2024.02.17 講演)福岡県在宅ホスピスケア
瀧下明日香	査読)九州理学療法学会2023 in熊本 研修会アシスタント・運営)『脳卒中片麻痺患者の評価と治療』2023.3.30-31
本田 直	査読)第19回熊本作業療法学会 査読)九州作業療法学会2024 in 大分
岩下 祥平	講演)令和5年度 熊本県高等学校保健会 第1回生徒保健委員連絡協議会 「普段の姿勢と動きについて」2023.7.7
野島謙一郎、小川一成、芳野大介	講演)(一社)熊本県介護福祉士会/熊本県ホームヘルパー協議会 コラボ企画「介護技術向上研修会」 2024.2.11
V-6 研修会参加	2023年度に公費自費関わらず参加した研修会を記入して下さい
山崎 孝文	①R5年度 自立支援型ケアプラン作成に向けたリハ職派遣研修会(熊本市主催) 2023.7.25WEB開催 ②第14回 熊本医療人育成総合会議 講演会(肥後医育振興会主催)2023.11.23熊本大学医学部 ③シーティング研修「即実践!寝たきりにさせないシーティング～セラピストの功罪を問う」(三輪書店主催)2023.8.28
瀧下 明日香	①骨盤底理学療法・産前産後理学療法 レベルⅠ(共通)日本ウイメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会 (web開催)2023.06.17 ②骨盤底理学療法・産前産後理学療法 レベルⅡ(共通)日本ウイメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会 (web開催)2023.06.18 ③発達障害に伴う運動機能障害 大阪府理学療法士会 (web開催)2023.7.12 ④熊本県理学療法士協会専門領域部小児班主催研修会 基礎編 (web開催)2023.7.30 ⑤運動の成り立ちとはなにか 三重県理学療法士会(web開催)2023.08.27 ⑥愛媛県理学療法士会 第3回一般研修会 アカデミックナイトセミナー (web開催)2023.09.06 ⑦ウイメンズヘルス 大阪府理学療法士会 (web開催)2023.09.14 ⑧九州理学療法学会学術大会 2023.11/25-26 ⑨発達障がい障がいされた小児期の人々に対する理学療法の進め方 茨城県理学療法士会 (web開催)2023.12.03 ⑩神経系・片麻痺勉強会 大阪府理学療法士会 (web開催)2024.02.21
中山 貴文	①熊本県体育協会スポーツ医科学専門委員会トレーナー研修会 2024.1.24 ②日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会
田島 徹朗	①2023年度評価員研修会 一般社団法人リハビリテーション教育評価機構 2023.5.13 ②臨床実習指導者講習会 全国リハビリテーション学校協会主催 2023.8.31 ③PTあ!っと健康講座 公益社団法人熊本県理学療法士協会 2023.7.16 ④日本理学療法士協会組織運営協議会 2023.10.8 ⑤九州理学療法士学術大会2023 in 熊本 2023.11.25-26 ⑥第14回熊本県医療人育成総合会議 後援会 公益財団法人肥後医育振興会 2023.11.23 ⑦□本理学療法□連盟主催研修会 □本理学療法□連盟 2024.2.9 ⑧全国リハビリテーション学校協会 九州・沖縄ブロック研修会 2024.1.6 ⑨2023年度「日本理学療法士教員協議会」全国大学理学療法学会 2024.1.27 ⑩第99回学術研修会 多角的に考える腰痛の理学療法戦略 公益社団法人熊本県理学療法士協会 2023.11.19
井手 義智	①第52回長野県理学療法学術大会(オンライン参加)2023.6.17-18 ②熊本県理学療法士協会専門領域部小児班主催研修会 基礎編 2023.7.30 ③第50回理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会 2023.8/14-9/2 ④全国リハビリテーション学校協会2023年度教員研修会 2023.9.30 ⑤第10回日本小児理学療法学会学術大会 2023.10/21-22 ⑥九州理学療法学会学術大会 2023.11/25-26 ⑦第11回東京都小児理学療法セミナー(オンライン研修会) 2024.2.18
渡久山 竜彦	①第14回 熊本医療人育成総合会議 講演会 2023.11.23 受講 (熊本大学医学部) ②親子で学ぶSNSの向き合い方 2024.1.28
平田 匠	①体表解剖研究会 運動器系体表解剖セレクションセミナー23 in 熊本(ハイブリッド開催)2023.9.10 ②第14回熊本県医療人育成総合会議 後援会 公益財団法人肥後医育振興会 2023.11.23 ③九州理学療法士学術大会 2023 in 熊本 2023.11.25.26 ④運動器系解剖体観察会 2024.1.7 ⑤日本理学療法士教員協議会 2024.1.27
原田 恭兵	①熊本大学主催 文献検索講習会(日本語論文)2023.6.28(Web開催) ②熊本大学主催 文献検索講習会(英語論文)2023.6.29(Web開催) ③理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設等講習会 2023.8.23(Web開催) ③シグマックス主催 急性外相に対するRICE処置のup to date 2023.8.24(Web開催) ④体表解剖研究会 運動器系体表解剖セレクションセミナー23 in 熊本(ハイブリッド開催)2023.9.10 ⑤シグマックス主催 目指せ腰痛のプロフェッショナル! ―運動療法と呼吸の重要性― 2023.9.15 ⑥理学療法士のための児童生徒等の運動器の健康に関する教育セミナー2023(Web開催)2023.11.18
岩下 祥平	①日本理学療法士学術研修大会 2023.5.27.28 ②第52回長野県理学療法学術大会(Web)2023.6.17.18 ③九州理学療法士学術大会 2023 in 熊本 2023.11.25.26 ④日本理学療法士教員協議会 2024.1.27
石原 靖之	①第33回福岡心臓リハビリテーション研究会 2023.5.12 WEB受講 ②第45回北九州心臓リハビリテーションセミナー 2023.8.10 WEB受講 ③南加賀心臓リハビリテーションを考える会 2023.9.12 WEB受講 ④心不全診療連携講演会 2023.10.26 WEB受講 ⑤第14回 熊本医療人育成総合会議 講演会 2023.11.23 受講 (熊本大学医学部) ⑥第34回福岡心臓リハビリテーション研究会 2023.12.1 WEB受講
大塚開成	①第14回 熊本医療人育成総合会議 講演会(肥後医育振興会主催)2023.11.23熊本大学医学部 ②第19回熊本作業療法学会 2023.11.26(山鹿市八千代座) ③熊本認知神経リハビリテーション研究会 研修会「外部観察について」「内部観察について」「道具について」2023.12.27、2024.1.12・2.28 ④第2回熊本県高次脳機能障害支援センター研修会(web開催)2024.3.13
赤石めぐみ	①第19回熊本作業療法学会 2023.11.26(山鹿市八千代座) ②第1回日本司法作業療法学会 2023.12.17 WEB開催
本田直	第19回熊本作業療法学会 2023.11.26(山鹿市八千代座) 第57回日本作業療法学会 2023.11.10～11.12(沖縄コンベンションセンター)
河野文夫	日本内科学会総会学術講演会 WEB講座 2023.4.14
河野文夫	日本臨床内科学会総会学術講演会 WEB講座 2023.4.16
河野文夫	熊本県内科医会講演会WEB 腎症重症化予防の地域医療連携 熊本赤十字病院腎臓内科部長 豊田麻里子 地域で進める糖尿病診療 熊本中央病院糖尿病・内分泌・代謝内科部長 西田健朗 2023.4.19

河野文夫	熊本県内科医会講演会WEB 糖尿病薬物地用の基本を踏まえた新たな治療戦略～イメグリミンへの期待～ 那珂記念病院理事長院長 遅野井健 イメグリミンの臨床的位置づけ 那珂記念病院理事長院長 遅野井健 ひがし成人・循環器内科クリニック 東隆行 土井内科クリニック 土井賢 2023.4.25
河野文夫	熊本県内科医会講演会ハイブリッド 糖尿病と高血圧の合併はなぜ危険なのか？～病態を踏まえた合理的な治療戦略～ 琉球大学大学院 医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座 教授 益崎裕章 ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ2階平安 2023.2.17
河野文夫	熊本県内科医会講演会ハイブリッド 腎性貧血の診断と治療 国立病院機構熊本医療センター副診療部長 梶原健吾 CKD診療ガイドライン2023改訂のポイント～薬物療法を中心として～ 熊本大学大学院生命科学研究部腎臓内科学准教授 栗原孝成 ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ2階平安 2023.5.23
河野文夫	熊本県内科医会講演会ハイブリッド 骨粗鬆症治療の使い分け～覚員における処方の実際～ 医療法人松下会あけぼのクリニック院長 松下和徳 骨代謝回転を考慮した骨粗鬆症治療の選択～ロモソズマブの特性～ 医療法人医心会福岡腎臓内科クリニック 谷口正智 THE FOREST TERRACE Kumamoto ザ ノースサイド 2023.5.30
河野文夫	熊本県内科医会講演会ハイブリッド 「知っておきたい肝疾患診療の基礎知識 ～C型肝炎から脂肪肝まで～」大阪赤十字病院 消化器内科 主任部長丸澤 宏之 先生 ホテル日航熊本 2023.6.3
河野文夫	熊本県内科医会講演会ハイブリッド 『関節リウマチ治療の変遷～診断から薬物治療まで～』国立病院機構熊本再春医療センターリウマチ科部長 リウマチセンター長 森 俊輔 先生 熊本県医師会館ホール 2023.6.12
河野文夫	令和5年第1回熊本県アレルギー疾患医療従事者等研修会(Web講習会) 熊本大学大学院生命科学研究部 助教 吉田 知栄子 先生 2023.6.27
河野文夫	熊本県内科医会講演会ハイブリッド 「今、2型糖尿病の治療戦略を考察する ～GLP-1受容体作動薬の期待と実態～」医療法人健清会 那珂記念クリニック 院長 遅野井 健 先生 :ANAクラウンプラザホテル 熊本ニュースカイ 2023.7.10
河野文夫	熊本県内科医会講演会ハイブリッド 「外来心リハ導入率12%への挑戦」松澤 泰志 先生 熊本大学病院 心臓リハビリテーション寄附講座 特任准教授 「一酸化窒素(NO)と心不全の心臓リハビリテーション」安達 仁 先生 群馬県立心臓血管センター 副院長 ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ 2023.7.24
河野文夫	熊本県内科医会講演会ハイブリッド 「Covid-19診療の最前線 ～抗ウイルス薬の臨床的意義について～」倭 正也 先生 地方独立行政法人りんくう総合医療センター総合内科・感染症内科部長兼感染症センター長 熊本市医師会館2階研修室 2023.7.31
小川一成	令和5年度 介護職種の技能実習指導員講習 講師養成研修 2023.7.28
河野文夫	熊本県内科医会講演会ハイブリッド 『どうする血圧!? ～若い人の高血圧と出会ったら～』国立病院機構熊本医療センター 腎臓内科 部長 梶原 健吾 先生 ANAクラウンプラザホテル 熊本ニュースカイ 2023.8.4
河野文夫	熊本県内科医会講演会 WEBセミナー Withコロナ時代のこれからの感染対策 國島 広之 先生 聖マリアンナ医科大学 感染症学講座 教授 「診療の手引き」に基づくCOVID-19の治療指針 -外来、入院から高齢者施設まで 藤田 次郎 先生 おもと会グループ 特別顧問 琉球大学 名誉教授 2023.9.7
河野文夫	熊本県内科医会講演会ハイブリッド 「医療制度改革における地域医療のあり方 ～病診医薬介護連携による総力戦」 演者: 有限会社イスモ 代表取締役社長 秋山 岳人 先生 「最新のCKD治療 ～将来の医療の為に今フォーナガでできること～」 演者: 独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター 副診療部長・腎臓内科部長 梶原 健吾 先生 熊本県医師会館 2023.9.22
河野文夫	熊本県内科医会講演会ハイブリッド 「ダイジェストで送るCKD診療ガイドライン2023改訂 薬物療法～腎性貧血治療も含めて～」熊本大学大学院生命科学研究部 腎臓内科学講座 准教授 栗原 孝成 先生 ホテル日航 2023.11.29
河野文夫	熊本県内科医会講演会 気管支喘息と成人アレルギー診療の実際・前編 熊本地域医療センター アレルギー内科部長兼アレルギー診療センター副センター長 2024.1.30
川窪昭子	第14回 熊本医療人育成総合会議 講演会 2023. 11.23 (熊本大学医学部)
岸本稔	①第15回熊本県医療保健福祉連携学会 2023.10.1 ②日本理学療法士協会 臨床実習指導者世話人講習会 2023.11.3 ③2023九州理学療法士合同学会in熊本 2023.11.25-26 ④第20回日本リハビリテーション教育学会 2024.1.6 ⑤日本理学療法士協会 臨床実習指導者講習会ブラッシュアップ講習会 2024.2.24-25
野島謙一郎	日本死の臨床研究会 第47回日本死の臨床研究会年次大会 日本死の臨床研究会九州支部 2023年度支部大会(第49回研究集会)2024.1.20 共生社会の実現を支える介護福祉人材研修2024.1.27
福岡進	第3回理学療法士作業療法士専任教員養成講習会 2023.12.4～2024.2.21
河口万紀子	精神科作業療法が参加する地域ケア会議(熊本県作業療法士県士会主催 Web開催)2023 2.21 思春期精神保健対策専門研修会(パレア)2023.12.27
V-7 社会活動実績	
田島 徹朗	公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員
	公益社団法人 熊本県理学療法士協会 副会長
	公益社団法人 熊本県理学療法士協会 臨床実習指導者養成講習会 委員会委員
	公益社団法人 熊本県理学療法士協会 会館設立検討委員会委員
	公益社団法人 熊本県理学療法士協会 倫理審査特別委員会委員
	公益社団法人 熊本県理学療法士協会 組織整備委員会 委員
	熊本県理学療法士連盟 副会長
	熊本市保健医療専門団体 理事
	熊本市介護認定審査員
	一般社団法人 リハビリテーション教育評価機構 評価員
	熊本市住宅改造居宅介護支援員
	2023 九州理学療法士学術大会in熊本 準備員長
中山 貴文	熊本県スポーツ協会スポーツ医科学専門委員会・トレーナー部会 熊本県剣道連盟事故防止安全委員会 委員
飯星 雅朗	公益社団法人熊本県理学療法士協会 理事
	公益社団法人熊本県理学療法士協会 地域局長
	熊本市介護給付等の支給に関する審査会 委員
	熊本市住宅改造居宅介護支援員 熊本市民健康フェスティバル 企画準備委員

	熊本市保健医療専門団体連合会 監事
石原 靖之	公益社団法人熊本県理学療法士協会 学術局学術部研究開発班 班員
	公益社団法人熊本県理学療法士協会 学術局教育部臨床実習教育班 班員
瀧下 明日香	日本ボパース研究会 九州ブロック 熊本県 世話人 日本神経系理学療法学会の地方ブロック部員
渡久山 竜彦	熊本県理学療法士連盟 会計監査
福岡進	公益社団法人熊本県理学療法士協会 倫理委員会 委員
井手 義智	公益社団法人熊本県理学療法士協会 専門領域部小児班 班員
河口万紀子	一般社団法人熊本県作業療法士会 財務部 部長
	一般社団法人熊本県作業療法士会 学術支援アドバイザー
山崎 孝文	熊本市介護認定審査会委員
	熊本職業能力開発促進センター講師
	熊本市自立支援型ケアプラン作成に向けたリハ職派遣モデル事業協力員
	一般社団法人 日本作業療法士協会 福祉用具相談支援システム 相談担当アドバイザー
	一般社団法人 熊本県作業療法士会 監事
亀尾香珠代	一般社団法人 熊本県作業療法士会 くまもとエキスパートOT
	一般社団法人熊本県作業療法士会 学術支援アドバイザー
本田 直	一般社団法人日本作業療法士協会 代議員
	一般社団法人熊本県作業療法士会 専務理事(総務部担当理事兼務)
	一般社団法人熊本県作業療法士会 事務局長
	一般社団法人熊本県作業療法士会 学術支援アドバイザー
	熊本リハビリテーション専門職三団体協議会 委員(事務局担当)
	一般社団法人熊本県作業療法士会 くまもとエキスパートOT
赤石 めぐみ	一般社団法人熊本県作業療法士会 学術部員
	一般社団法人熊本県作業療法士会 財務部部員
	一般社団法人熊本県作業療法士会 事業部 刑務所支援チーム部員
大塚 開成	一般社団法人熊本県作業療法士会 総務部部長
	一般社団法人熊本県作業療法士会 学術支援アドバイザー
	一般社団法人熊本県作業療法士会 中長期計画策定チーム
	熊本市自立支援型ケアプラン作成に向けたリハ職派遣モデル事業協力員
	一般社団法人日本作業療法士協会 認定作業療法士
福山 貴美子	一般社団法人熊本県作業療法士会 くまもとエキスパートOT
	熊本県看護教育機関協議会 委員
野島 謙一郎	一般社団法人熊本県介護福祉士会 理事
	一般社団法人熊本県介護福祉士会 研究委員長
	熊本県福祉人材・研修センター運営委員会 委員
	日本死の臨床研究会九州支部 支部役員及び啓発教育委員
	熊本県介護の日 実行委員会 副会長
河野文夫	学校法人立志学園九州中央リハビリテーション学院理事
	国立病院機構熊本医療センター名誉院長
	国立病院機構熊本医療センター看護師特定行為管理委員会 委員
	国立病院機構熊本医療センター附属看護学校評価委員会 委員
	国立病院機構熊本医療センターOB会 二の丸会 会長
	熊本県内科医会副会長
	日本臨床内科医会代議員
	熊本大学医学部第二内科OB会仁杏会理事
	日本血液学会功労会員
	日本造血細胞移植学会功労会員
	日本内科学会総合内科専門医
	日本血液学会専門医
	日本臨床内科医会認定医
	日本臨床内科医会専門医
	産業医
	熊本近代史研究会会員 会誌編集委員
	熊本観光文化検定1級
	熊本県護国神社崇敬会理事
	熊本県医療人育成会議委員会実行委員
	熊本県日中友好協会会員
	熊本県文化懇話会会員
	西部方面総監部後援会会員
	熊本県日韓親善協会会員
岩下 祥平	一般社団法人熊本県専修学校各種学校連合会 熊専各体育運営委員会 ソフトテニス競技委員長
川窪昭子	志学会(同窓会)副会長
	熊本市介護人材確保に関する会議 委員
	公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員
	公益社団法人 日本理学療法士協会 臨床実習指導者講習会質向上検討部会 委員
	公益社団法人 熊本県理学療法士協会 副会長
	公益社団法人 熊本県理学療法士協会 特別委員会 臨床実習指導者養成講習会 委員長
	公益社団法人 熊本県理学療法士協会 特別委員会 50周年事業特別委員会 委員長

岸本 稔	公益社団法人 熊本県理学療法士協会 組織整備委員会 委員
	熊本県医療保健福祉連携学会 企画委員
	熊本県理学療法士連盟 事務局
	熊本県菊池市 介護認定審査員
	2023 九州理学療法士学会in熊本 副大会長
	社会福祉法人 友朋会 評議員
小川一成	令和5年度 介護の日作業部会

VI-2

高齢者の関連施設との交流について

新型コロナ感染が収束し当学院の関連施設である高齢者施設への直接訪問が可能になったため、関連施設に出向き交流会を再開した。交流会では、作業療法としての意味付けを考慮した集団の活動の実施と、個別の作業療法プログラム作成を、利用者と職員への情報収集面談を通して立案する課題に取り組んだ。

交流会は、臨床実習前の実践的トレーニングとして位置づけ、2、3年生を対象に以下の通り実施した。2年生は、認知症高齢者グループホーム潤で集団活動プログラムを、3年生は、小規模多機能施設かがやきで、集団活動プログラムと個別の作業療法プログラム立案を行った。主な実施内容は以下である。

1) グループホーム潤交流会

(対象学年) 2年生 25名

(目的)

- 1) 認知高齢者と適切なコミュニケーションが取れる。
- 2) 集団活動の企画実施ができる。
- 3) リスク管理に配慮できる

(実施方法)

学習班5名企画運営を分担して行う。

(実施日) 実施時間：45分

10月13日 27日、11月10日 24日

12月8日 22日 計6回訪問

(内容) 自己紹介、RO法、体操、脳トレーニング ゲーム クールダウン



《グループホーム潤交流会場面》

2) 小規模多機能型施設かがやき

(対象学年) 3年生 34名

(目的) 利用者との交流および対象者の作業療法プログラムを立案する。

(実施方法) 施設利用者と集団で体操や脳トレーニング、粘土細工などの作業活動を行う。また同意を得た対象者とスタッフに情報収集を行い、個別作業療法プログラムを立案する。

(内容) 体操・脳トレーニング、粘土細工や玉投げなどのレクリエーション／同意を得た対象者との会話・スタッフへの情報収集

(実施時間と日) 時間：10時～11時

10月13日・27日、11月10日・24日

12月8日・22日 計6回



《かがやき交流会場面》

3) 報告会の実施

(実施日) 2024年1月12日(金) 9時から12時

(会場) 講堂

(対象学生) 2～3年生

(内容) 5階講堂にて、2年生は活動報告、3年生はMTDLPを用いた作業療法プログラム立案報告を学習毎におこなった。

2年生報告 7分間報告 質疑応答 2分

3年生報告 7分間報告 質疑応答 7分



《交流会報告会の様子》

(まとめ)

訪問して対象者と直接交流することで、活動を実施する経験に加えて、声掛けの仕方、車椅子の移動介助、参加者の見守りなど、臨床実習前のトレーニングになっていた。また、交流を通して対象者が笑顔になったり、意欲的に取り組みがみられたりしたことが、学生の今後に自信につながったように思われる。加えて、2～3年生合同での報告会実施は、実習症例報告会の練習に機会になり、また、次年度のイメージができるなど、学年間の情報共有の機会になっていた。

VI-2 介護福祉士実務者研修

(通信課程)

介護福祉士国家試験の受験資格を得る研修を通じて、介護福祉士としての対人理解や対人援助の基本的な視点と理念、専門的な職業人として職務に当たるうえでの基本的姿勢、基礎的な知識・技術を習得させ高齢者や障害者の自立支援の担い手として即戦力を有する介護職員を養成することを目的とする。

研修過程は、通信（教材をもとに自宅学習）およびスクーリングからなり、規定期間は6か月間の研修となる。

2023 年度実施期間（A、B コース開講）

コース	実施期間	定員	受講者
A コース	令和5年5月2日（火）～10月31日（火）	32人	11人
B コース	令和5年6月1日（木）～11月30日（木）	32人	10人

スクーリングの日程

コース	スクーリング
A コース	A コース 介護過程Ⅲ（6日間） 7月5日（水）7月19日（水）8月2日（水） 8月23日（水）9月6日（水）9月20日（水） 補講 A コース2回目7月27日（木） A コース4回目9月4日（月） 医療的ケア 10月14日（土）10月15日（日）
B コース	B コース 介護過程Ⅲ（6日間） 8月30日（水）9月13日（水）9月27日（水） 10月11日（水）10月25日（水）11月1日（水） ※8月9日（水）台風のため中止 補講 B コース2回目9月21日（木） 医療的ケア 11月11日（土）11月12日（日）

広報活動

開催日	会場名	参加人数	テーマ	担当教員
2023年5月26日	国府高校校内ガイダンス	28	進学ガイダンス	井手
6月7日	ドリコム会場ガイダンス	19	進学ガイダンス	本田 瀧下 岩下 小川 福山 柿下
6月8日	グランメッセ熊本	45	進学ガイダンス	亀尾 飯星 原田 野島 古澤 柿下
6月8日	熊本中央高校校内ガイダンス	6	進学ガイダンス	川窪 渡久山
6月12日	熊本城ホールガイダンス	26	進学ガイダンス	飯星 伊藤 川窪
6月21日	千原台高校校内ガイダンス	34	進学ガイダンス	岩下
6月23日	九州学院高校校内ガイダンス	1	進学ガイダンス	渡久山
6月27日	ルーテル学院	15	進学ガイダンス	平田
6月27日	八代白百合学園	8	進学ガイダンス	福山
6月30日	慶誠高校校内ガイダンス	13	進学ガイダンス	野島 井手
7月10日	八代東高校校内ガイダンス	3	進学ガイダンス	原田
7月25日	マイナビガイダンス	90	進学ガイダンス	飯星 原田 大塚 川窪 柿下
11月21日	熊本城ホールガイダンス	9	進学ガイダンス	原田
12月12日	お仕事探検フェア2023	名簿取得不可	進学ガイダンス	全学科
12月14日	開新高校校内ガイダンス	9	進学ガイダンス	小川
2024年1月26日	甲佐高校校内ガイダンス	13	進学ガイダンス	小川
2月16日	天草拓心高校校内ガイダンス	10	進学ガイダンス	柿下 大塚
3月4日	熊本国府高校校内ガイダンス	6	進学ガイダンス	柿下 岩下
3月11日	熊本会場（鎮西高校）	25	進学ガイダンス	野島 岩下
3月11日	八代東高校校内ガイダンス	5	進学ガイダンス	原田
3月13日	ドリコム会場	28	進学ガイダンス	大塚 亀尾 平田 芳野 柿下 土井
3月13日	千原台高校校内ガイダンス	7	進学ガイダンス	柿下 原田
3月15日	湧心館高校校内ガイダンス	16	進学ガイダンス	大塚

R5学生募集活動

①入学試験

	受験者	合格者		入学者
			内第2希望	
作業療法学科	25	25		24
理学療法学科	75	76	1	70
理学療法学科夜間部	18	17		17
看護学科	84	78		67
介護福祉学科	21	21		20
デジタルソリューション学科	12	12		11
計	235	229	1	209

入学試験出願者(学校別)

熊本国府高等学校	13
熊本商業高等学校	8
熊本農業高等学校	8
八代清流高等学校	8
熊本市立千原台高等学校	7
熊本西高等学校	7
慶誠高等学校	7
秀岳館高等学校	7
尚綱高等学校	7
翔陽高等学校	6
東稜高等学校	6
開新高等学校	6
東海大学付属熊本星翔高等学校	6
人吉高等学校	5
湧心館高等学校	5
熊本市立必由館高等学校	4
八代白百合学園高等学校	4
阿蘇中央高等学校 阿蘇校舎	4
球磨中央高等学校	4
天草高等学校	4
鎮西高等学校	3
松橋高等学校	3
志成館高等学院	3
一ツ葉高等学校	3
芦北高等学校	3
第二高等学校	2
大津高等学校	2
宇土高等学校	2
菊池高等学校	2
八代高等学校	2
南稜高等学校	2
水俣高等学校	2
天草拓心高等学校 本渡校舎	2
八代東高等学校	2
牛深高等学校	2
菊池農業高等学校	2
九州学院高等学校	2
文徳高等学校	2
ルーテル学院高等学校	2
菊池女子高等学校	2
玉名女子高等学校	2
城北高等学校	2

第一高等学校	1
熊本北高等学校	1
熊本工業高等学校	1
玉名工業高等学校	1
熊本マリスト学園高等学校	1
熊本信愛女学院高等学校	1
熊本中央高等学校	1
御船高等学校	1
甲佐高等学校	1
高森高等学校	1
鹿本農業高等学校	1
専修大学熊本玉名高等学校	1
八代工業高等学校	1
勇志国際高等学校	1
くまもと清陵高等学校	1
熊本スポーツ高等学院	1

【県外】

宮崎県立小林高等学校	2
福岡県立伝習館高等学校	1
大牟田高等学校	1
誠修高等学校	1
明光学園高等学校	1
大分県立臼杵高等学校	1
宮崎県立都城西高等学校	1
宮崎県立飯野高等学校	1
佐賀県立伊万里実業高等学校	1
高知中央高等学校	1
神戸弘陵学園高等学校	1

新卒計	203
-----	-----

VI-7 オープンキャンパス

1.開催日時

- 第1回 6月10日(土)9:30 スタート
- 第2回 7月9日(日)9:30 スタート
- 第3回 7月22日(土)9:30 スタート
- 第4回 8月5日(土)9:30 スタート
- 第5回 8月18日(金)9:30 スタート
- 第6回 10月18日(水)19:00 スタート→ナイトオープンキャンパス
- 第7回 10月29日(日)9:30 スタート
- 第8回 11月22日(水)19:00 スタート→ナイトオープンキャンパス
- 第9回 12月8日(金)19:00 スタート→ナイトオープンキャンパス
- 第10回 1月11日(木)19:00 スタート→ナイトオープンキャンパス
- 第11回 2月9日(金)19:00 スタート→ナイトオープンキャンパス
- 第12回 3月23日(土)9:30 スタート

2.告知

- ①学院パンフレット、告知ポスターを県内及び県外の高校(県境近郊)に配布
- ②進路ガイダンス等での呼びかけとポスター告知
- ③学院ホームページ、SNS、進学専門誌に掲載

3.参加状況

オープンキャンパスは12回開催し参加者数548名(534名)前年比103%だった。()前年数

2023	OT	PT	PTN	Ns	CW	DS	IC	合計
	参加	参加	参加	参加	参加	参加	参加	参加
第1回 6/10(土)	8	18	4	16	1	0	0	47
第2回 7/9(日)	15	19	3	25	3	0	3	68
第3回 7/22(土)	15	32	0	25	8	3	6	89
第4回 8/5(土)	12	41	4	44	11	2	4	118
第5回 8/18(金)	16	46	4	35	9	2	6	118
第6回 10/18(水)	0	0	4	0	0	0	0	4
第7回 10/29(日)	4	8	3	22	0	6	0	43
第8回 11/22(水)	0	0	2	0	0	0	0	2
第9回 12/8(金)	0	0	2	0	0	0	0	2
第10回 1/11(木)	0	0	3	0	0	0	0	3
第11回 2/9(金)	0	0	2	0	0	0	0	2
第12回 3/23(土)	9	14	2	23	2	2	0	52
合計	79	178	33	190	34	15	19	548

4.内容

通常開催(来校型)7回、ナイトオープンキャンパス5回実施した。



VI 社会活動・地域活動

VI-8 入学前教育プログラムについて

今年度も、昨年に引き続き対面でのセミナー実施が可能となった。

理学療法学科(昼間部、夜間部) 作業療法学科の新入学生を対象に以下の目的及び内容で開催した。

1) 目的

学習習慣の定着、入学後の学習イメージを持つ学生間と教職員との交流を深める 入学前のオリエンテーションの4つを目的とした。

2) 内容

①自宅でのテキスト学習

新入学生全員に「プレリハ」テキストを用いて自宅学習を勧めた。テキストは、達成度確認の為、入学後に提出することとした。

②入学前セミナーの開催 (3回)

第1回 12月2日(土曜日)

第2回 3月12日(火曜日)

第3回 3月26日(火曜日)

◆第1回セミナー

(日時)12月2日(土曜日) 10時～12時

(場所)OT学科 1番教室 PT学科 2.3番教室

(内容)プレリハ確認テスト①、事務連絡
学科別の交流会

《作業療法学科の交流会》

4班(1班あたり6名)班毎で自己紹介を行い新入生同士の交流を促した。次に、各教員から作業療法に関する問題を作成し、三択クイズ形式で出題、新入生は、班で協力しスマホで検索し解答を選択させた。

一番正解した班には、学科長から優勝グループに対して表彰および景品が授与された。優勝した班員は、思いがけないプレゼントに大変嬉しそうな表情で喜んでいた。



作業療法学科 第1回セミナーの様子 r

《理学療法学科(昼・夜間)の交流会》

9班(1班あたり4～6名程度)をつくり、自己紹介シートの記入・作成を行った。班内でシートを用いて自己紹介を行い、参加者の交流を促した。その後、班活動として骨模型の組み立て作業を実施した。前半は上肢帯として(肩甲骨、上腕骨、橈骨、尺骨)を用いて机上に並べた。次に、下肢帯として(寛骨、大腿骨、脛骨、腓骨)を用いて机上に並べ組み立て作業を行った。各班員が協力し、同一課題に取り組むことで、事前学習の理解に加え、各生徒間の交流、課題に対して主体的に取り組むことが出来た。セミナー後のアンケート結果より、参加者同士の交流を希望する学生も多く、新年度からの交友関係構築に不安を感じているようであった。



理学療法学科 第1回セミナーの様子

(参加人数) PT40名 PTN8名 OT22名 総数 70名

◆第2回セミナー

(日時) 3月12日(火曜日) 13時～15時30分

(場所) 講堂

(内容) 事務からの連絡

(事務: 古市)

学院長からの入学前オリエンテーション
(河野学院長)

テキストの解説および質問

(講師: 理学療法学科教員 岩下 祥平)

《学院長からオリエンテーション》

入学に先立ち、医療従事者としての感染対策の

意識づけの重要性と入学後の学習に対しての心構えについて講和があった。具体的には、コロナ・インフルエンザの感染経路について、効率の悪い学習法とはどのようなものか、試験をおそれないこと、読書の習慣づけの勧めなどの講和があった



学院長のオリエンテーションの様子(第2回)

《講義：テキスト解説と質疑応答》

①のプレリハテキストを用いて、解剖学の講義を行った。範囲として、第1章・第2章の一部についてスライドを用いた講義形式で実施した。目的として、医学用語について触れること、医学用語の意味について、今後授業で触れる内容の導入編として行った。関節の運動方向については、担当教員の体を用いて多方向からのイメージ構築を図った。



講義の様子(第2回)



講義の様子(第2回)

◆第3回セミナー

(日時) 3月25日(火曜日) 13時～15時30分

(場所)OT 学科 1 番教室 PT 学科 3.4 番教室

(内容)プレリハ確認テスト②、事務連絡

学科別の交流会

《作業療法学科の交流会》

まずは、交流をより深めてもらう目的で、「非現実的自己紹介」というテーマで、会話を行わず身振りや手振り、誕生日の早い順番に並ぶというゲームを行った。クラスメイトに一所懸命自分の誕生日を伝える為、自然と身振りや手振りが大きくなり、笑顔での交流がみられた。

確認テスト②を受験後、5人の班になり、骨格標本を並べる学習会を行った。どこの骨であるかの位置の確認や、骨の左右の確認などを、教員の指導を受けながら、スタンド式の骨標本を観察して、班員で協力しながら熱心に取り組む姿勢が伺えた。

《理学療法学科の交流会》

初回参加者が複数名含まれるため、6名1班を10班編成し、各班自己紹介を行った。教員側より、各班の代表者を選出し、班長ならびに司会進行役を設け、司会進行役の指示に従い会を進行した。自己紹介後は、第1回、第2回セミナーで行った学習内容をもとに、模擬授業形式の交流会を実施した。吊るしの骨模型とガムテープを用い、筋を3次的にとらえ、運動イメージや筋の走行をイメージする課題を行った。対象筋として、下肢筋(大殿筋、腸腰筋、大腿四頭筋、下腿三頭筋)に絞った。実施方法については事前に教員から指導し、各班で協力してガムテープを貼付した。交流会中はほとんどの参加者が立って作業を行い、主体的に取り組んでいた。

(まとめ)

今年度の入学前プログラムは、例年取り組んでいる、入学決定後から入学までの自宅でのテキスト学習に加え、対面でのセミナーを3回開催することができた。

また、テキスト内容を基本とした確認テストを2回実施することで、本プログラムの目的である、学習習慣の定着と入学後の学習イメージを持つことに良い効果があったと思われる。実際、確認テストについての成績は全学科良好であった。

また、希望もあり学科別での交流会の時間を多めに設定したが、クラスメイト、教員との良い交流ができていた。

更に、今年度は第2回セミナーにおいて、学院長からの入学前オリエンテーションで講和をおこなうことが出来て、医療従事者としての感染対策への意識づけも行うとも出来た。来年度も継続ができればと思う。

VII 奨学金・特待制度・減免制度

1	日本学生支援機構	令和5年度 奨学金等交付総額 ¥339,706,400	
2	県市町村/団体		
3	熊本県母子家庭高等職業訓練促進給付金事業		
4	生命保険協会 介護福祉士養成奨学金		
5	熊本県介護福祉士等修学支援資金		
6	成績優秀者特待制度		
7	後援会奨学制度		
1	日本学生支援機構	貸与月額	人数
	令和5年度交付対象件数	¥18,300	3名
	第1種奨学金(利子無)	¥20,000	22名
	第2種奨学金(利子付)	¥23,800	13名
	給付奨学金	¥30,000	26名
		¥40,000	48名
		¥50,000	54名
	入学時特別増額貸与奨学金	¥53,000	97名
	交付対象者	¥60,000	39名
	特別増額貸与総額	¥70,000	12名
		¥80,000	34名
	給付第Ⅰ区分	¥90,000	12名
	給付第Ⅱ区分	¥100,000	42名
	給付第Ⅲ区分	¥110,000	4名
	給付総額(減除く)	¥120,000	25名
		併給調整	45名
	令和5年度新規採用者		
	新入生	191件	入学時増額
	在校生	18件	人数
			¥100,000 0名
			¥200,000 0名
	令和5年度新入学生数に対する交付率	55.75%	¥300,000 3名
	全学生数に対する交付率	58.36%	¥400,000 0名
			¥500,000 5名
日本学生支援機構奨学金 貸与/給付総額		¥319,458,400	
2	県市町村及び団体	月額	年額(人数合計)
	長崎県育英会	1名 一括貸与	¥700,000
	熊本県看護師等修学支援資金	7名 ¥36,000	¥3,024,000
	あしなが育英会	1名 ¥70,000	¥840,000
	交通遺児育英会	1名 ¥30,000	¥360,000
		総額	¥4,924,000
3	熊本県母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業	月額	
	交付月額(給付)	4名 ¥100,000	総額 ¥4,800,000
4	生命保険協会 介護福祉士養成奨学生	月額	
	交付月額(給付)	1名 ¥20,000	総額 ¥240,000
5	熊本県 介護福祉士等修学支援資金	年額	
	交付月額(貸与)	7名 ¥820,000	総額 ¥5,740,000
6	令和5年度 成績優秀者 特待制度	新入生	在校生
	作業療法学科	0名	5名
	理学療法学科昼間部	2名	11名
	理学療法学科夜間部	0名	2名
	看護学科	対象外	5名
	介護福祉学科	対象外	1名
		免除額合計	
		特待生総数	26名
		免除総額	¥3,780,000
7	令和5年度 後援会奨学制度	対象者数	免除額合計
	作業療法学科	1名	¥120,000 免除対象 7名
	理学療法学科昼間部	2名	¥240,000 免除総額 ¥764,000
	理学療法学科夜間部	1名	¥100,000
	看護学科	2名	¥208,000
	介護福祉学科	1名	¥96,000

【編集後記】

令和 5 年度は、新型コロナウイルス感染症も 5 類へ移行され日常がコロナ禍前に戻りつつある 1 年となりました。学生生活では勉強だけでなく、学院行事や部活動の再開を通してクラスメイト通しの横の繋がり、先輩や後輩との縦の繋がり、他学科や外部への交流による多方面への繋がりなど人同士の交流が復活した 1 年だったと思います。

今回の年報では全てではありませんが、再開した活動に関しても記載されています。コロナ禍では人同士の繋がり希薄さも問題視されましたが、学院で繋がった学生、教職員、保護者、地域の方々との交流が垣間見られる内容になったかと思います。

今年度も学院で学ぶ学生が貴重な日々を過ごせるよう、より職員一同協力しながら乗り越えていければと思います。

井手 義智

<令和 5 年度 年報編集委員>

井手 義智（理学療法学科）

河口 万紀子（作業療法学科）

福山 貴美子（看護学科）

野島 謙一郎

（介護福祉学科・国際介護学科）

島田 一誠（事務部）

志垣 伸太郎（法人部）